

昭和 34 年 度

事業成績書

水産庁北海道さけ・ますふ化場

刊 行 の こ と ば

昭和34年度の事業成績を取りまとめましたので、こゝに報告致します。

本年の北洋漁業は、昭和31年以来第4年目の操業を迎え、漁獲量も年毎に制限が加えられ80,500屯と昨年を更に下廻り、その上漁獲区域、漁具の制限も加つたが、5月下旬から8月上旬までの短期間に、48度以南の漁獲高も含めて予期以上の成果をあげた。更に本道沿岸の鮭鱒漁業並に産卵群の河川浜上げ昨年には及ばなかつたが、鮭では目標を越える採卵卵子4億1千万粒をあげ得た事は、まことに喜ばしい次第であります。

この内容を分析してみます時、漁獲高に比して採卵数の多い事が目立つており、このことは事業面での技術の向上と、研究面での成果のあらわれである事は云うに及ばず、現場職員のたゆまざる努力と関係各位の絶大なる御協力の賜であると痛感する次第であります。

今後は更に努力を重ねる所存ではありますが、本書を通じてわれわれの至らない点について御叱正賜れば幸甚と存じます。

昭和35年12月

北海道さけ・ますふ化場長

荒 井 定 治

水産庁 北海道さけ・ますふ化場事業成績書

目 次

1. 鮭鱒捕獲事業実施体制	2
2. 鮭鱒孵化放流実施体制	3
3. 鮭鱒増殖事業経費	4
4. 北海道鮭鱒孵化場の現員	5
5. 鮭鱒漁業の現況	5
(1) 北洋漁業の現況	5
(2) 48度以南鮭鱒漁業	6
(3) 鮭鱒定置漁業	6
6. 鮭増殖事業	6
(1) 鮭増殖事業概況	6
(2) 昭和34年度鮭増殖事業成績	7
① 支事業場別鮭親魚捕獲採卵成績	7
② 支事業場別鮭孵化放流成績	10
③ 海区水系別鮭親魚捕獲採卵成績	12
④ 海区水系別鮭孵化放流成績	18
7. 鱒増殖事業	19
(1) 鱒増殖事業概況	19
(2) 昭和34年度鱒増殖事業成績	21
① 支事業場別桜鱒・樺太鱒親魚捕獲採卵成績	21
② 支事業場別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績	22
③ 海区水系別桜鱒・樺太鱒親魚捕獲採卵成績	24
④ 海区水系別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績	28
8. 鮭鱒親魚蓄養成績	28
9. 鮭鱒種卵の移殖	36
(1) 移殖概況	36
① 鮭卵移殖成績	36
② 鱒卵移殖成績	40
③ 姫鱒卵移殖成績	41
10. 姫鱒増殖事業	42
(1) 捕獲・採卵	42
(2) 孵化・放流	43
11. 調査試験	43
12. 資料の刊行	51

1. 鮭・鱒捕獲事業実施体制

昭和34年度鮭・鱒捕獲採卵事業は、道内62河川で80個所の捕獲採卵場をもつて実施された。その実施方法は従来通り北海道知事及び民間団体の委託捕獲をも行つた。その詳細は別表の通りである。

第1表 昭和34年度 鮭・鱒捕獲事業実施体制

海区	水 系	採 卵 場	事業場	実 施 区 分				海区	水 系	採 卵 場	事業場	実 施 区 分			
				さ	け	ま	す					さ	け	ま	す
				道	民間	道	民間					道	民間	道	民間
オ コ ッ ク 海 区	(北見支場)							室 海 区	植 元	別 崎	植 元	別 崎			
	岩 尾	別 里	岩 尾	別 里	岩 尾	別 里	岩 尾		崎 無	吳 崎	崎 無	吳 崎			
	斜 止	藻 琴	斜 止	藻 琴	斜 止	藻 琴	斜 止		古 多	糠 古	古 多	糠 古			
	網 走	西 網	網 走	西 網	網 走	西 網	網 走		伊 茶	仁 伊	伊 茶	仁 伊			
	常 呂	常 呂	常 呂	常 呂	常 呂	常 呂	常 呂		伊 標	津 伊	伊 標	津 伊			
	湧 渚	別 滑	湧 渚	別 滑	湧 渚	別 滑	湧 渚		当 幌	当 幌	当 幌	当 幌			
	藻 舘	奥 舘	藻 舘	奥 舘	藻 舘	奥 舘	藻 舘		西 床	西 床	西 床	西 床			
	雄 武	雄 武	雄 武	雄 武	雄 武	雄 武	雄 武		風 別	風 別	風 別	風 別			
	幌 幌	幌 幌	幌 幌	幌 幌	幌 幌	幌 幌	幌 幌		計				3	16	3
	計				4	10	4								12
日 本 海 区	(千歳支場)							襟 以 東 海 区	銅 路	阿 茶	銅 路	阿 茶			
	石 狩	石 狩	石 狩	石 狩	石 狩	石 狩	石 狩		阿 茶	音 十	阿 茶	音 十			
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	〃	〃			
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	〃	〃			
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	〃	〃			
	(渡島支場)								歴 広	舟 尾	歴 広	舟 尾			
	尻 朱	別 利	尻 朱	別 利	尻 朱	別 利	尻 朱		〃	〃	〃	〃			
	厚 沢	厚 沢	厚 沢	厚 沢	厚 沢	厚 沢	厚 沢		計				3	13	
	計				6	4	2								1
	(根室支場)							襟 以 東 海 区	(千歳支場)						
根	サシルイ	サシルイ	サシルイ	サシルイ	サシルイ	サシルイ	サシルイ		幌 元	別 浦	幌 元	別 浦			
	春 刈	古 丹	春 刈	古 丹	春 刈	古 丹	春 刈		〃	〃	〃	〃			

海区	水	系	採 卵 場	事業場	実 施 区 分				海区	水	系	採 卵 場	事業場	実 施 区 分																											
					さ け		ま す							さ け		ま す																									
					道	民間	道	民間						道	民間	道	民間																								
裳 以 西 海 区	三 静 新 鵠 勇 白 敷	石 内 冠 川 弘 老 生	三 静 新 鵠 勇 白 敷	石 内 冠 川 弘 老 生	静 々 々 勇 白 敷	内 弘 老 生	〇	〇	〇	〇	〇	〇	遊 楽 部 部 知 内	〇	〇	〇	〇	〇	〇																						
																				襟 裳 以 西 海 区	長 遊 落 茂 知	万 楽 部 部 地 内	長 遊 落 茂 知	万 楽 部 部 地 内	遊 楽 部 部 知 内	4	10	9	27												
																														計	計	計	計	計	計						
																																				総	計	計	計	計	計

第2表 鮭・鱒捕獲事業実施体制総括表

海 区	水 系 数	捕 獲 採卵場数	実 施 区 分				備 考
			鮭		鱒		
			道 委 託	民間委託	道 委 託	民間委託	
オコツク海区	17	19	4	10	4	14	
日 本 海 区	6	11	6	4	2	1	
根 室 海 区	17	20	3	16	3	12	
襟裳以東海区	8	16	3	13	0	0	
襟裳以西海区	14	14	4	10	0	0	
計	62	80	20	53	9	27	

2. 鮭・鱒孵化放流実施体制

昭和34年度に人工孵化放流事業を実施した河川は48水系で、実施個所は国営孵化場46個所、民営孵化場7個所、計53個所で実施された。放流された河川名及び事業実施体名を示すと、第3、4表の通りである。

第3表 昭和34年度 鮭・鱒孵化放流実施体制

海区	放 流 水 系 名	放流実施 事業場名	支 場 名	民間放流 実施体名	魚 種		海区	放 流 水 系 名	放流実施 事業場名	支 場 名	民間放流 実施体名	魚 種	
					鮭	鱒						鮭	鱒
オ コ ッ ク 海 区	岩 尾	別 里	北 見		〇	〇	日 本 海 区	天 塩	(ロクシナイ)	天 塩	天塩漁組	〇	〇
	斜 藻	別 里	〃		〇	〇		〃	〃	〃	〃	〇	〇
	網 琴	別 里	〃		〇	〇		〃	〃	〃	〃	〇	〇
	常 走	別 里	〃		〇	〇		〃	〃	〃	〃	〇	〇
	湧 渚	別 里	〃		〇	〇		〃	〃	〃	〃	〇	〇
	奥 舘	別 里	〃		〇	〇		〃	〃	〃	〃	〇	〇
	幌 幌	別 里	〃		〇	〇		〃	〃	〃	〃	〇	〇
	計				12	12		計				10	4
	(根室支場)												
	サシルイ	サシルイ											

海区	放流 水系名	放流実施 事業場名	支場名	民間放流 実施体名	魚種 鮭 鱒	海区	放流 水系名	放流実施 事業場名	支場名	民間放流 実施体名	魚種 鮭 鱒
根室 海区	羅白 薫別	羅白 薫別	根室 〃		〇 〇	襟裳 海区	茶路 歴舟	白糠 大樹	〃		〇 〇
	伊茶 標仁	伊茶 標仁	〃		〇 〇		広尾 〃	(広尾)	〃	広尾町	〇 〇
	〃	根室 計根	〃		〇 〇		計				12
	当幌 床丹	(床丹)	〃	標津漁組	〇 〇		幌別 元浦	幌別 元浦	千歳		× 〇
	西別 風連	虹浜	〃		〇 〇		三石 静内	三石 静内	〃		〇 〇
	別当 賀厚	中床	〃		〇 〇		新冠 鵠川	新冠 (鵠川)	〃		× 〇
	計				10 10		勇弘 白老	勇弘 白老	〃		〇 〇
							敷遊 楽生	敷遊 楽生	渡島		〇 〇
							茂辺 地知	(茂辺地)	〃	茂辺地組	〇 〇
							計				10 × 2
襟裳 以東 海区	別寒 銅路	太田 銅路	十勝 〃		〇 〇	総計					54 × 3
	〃	鶴居	〃		〇 〇						26
	阿寒 別勝	阿寒 (音別)	〃	音別町	〇 〇						
	十勝 〃	十勝 別内	〃		〇 〇						
	〃	札内	〃		〇 〇						
	〃	(利別)	〃	利別町	〇 〇						

(註) 〇印は事業実施せるもの。×印は種々の障碍の為休止せるもの。

第4表 鮭、鱒孵化放流事業実施体制総括表

海区	放流 水系数	孵化場数			実施区分		備考
		国営	民営	計	鮭	鱒	
オコツク海区	12	12	0	12	12	12	
日本海区	7	9	1	10	10×1	4	
根室海区	9	8	1	9	10	10	
襟裳以東海区	8	9	3	12	12	0	
襟裳以西海区	12	8	2	10	10×2	0	
計	48	46	7	53	54×3	26	

3. 鮭、鱒増殖事業経費

昭和34年度における国費投入額は120,237,005円で、その内訳は第5表の通りである。

第5表 昭和34年度予算の決算額

一科目一	
(組織)	
水産庁	120,237,005円
(項)	
北海道鮭、鱒孵化場費	120,237,005

(目)職員俸給	37,260,022
扶養手当	2,536,089
暫定手当	2,055,666
職員諸手当	9,861,747
職員特別手当	9,685,854
超過勤務手当	2,631,974
常勤職員給与	1,589,568
職員旅費	2,599,603
庁費	2,165,000
採卵孵化放流費	13,280,986
賃金	3,033,958
事業用機械器具購入費	4,520,010
土地建物借料	5,541,798
各所修繕	3,598,870
親魚捕獲事業委託費	19,813,740
国有資産所在市町村交付金	62,120

4. 北海道鮭、鱒孵化場の現員

昭和34年3月31日現在の本、支場別の人員の配置状況を見ると第6表の通りである。

第6表 本支場別人員配置表

	事務官	技官	雇	定夫	常勤	臨時	合計
本場	13	22	8	1	5	1	50
北見	1	12	3	0	4	1	21
根室	2	15	3	2	5	0	27
十勝	1	19	3	0	2	0	25
天塩	2	8	1	0	3	0	14
千歳	3	10	4	0	1	1	19
渡島	1	10	2	0	1	1	15
合計	23	96	24	3	21	4	171

5. 鮭、鱒漁業の現況

昭和34年度の鮭、鱒漁業の概況を見ると、母船式鮭、鱒漁業は、日ソ漁業条約締結第3年目を迎え、漁獲量も漸く8万5千屯で妥結をみ、更に漁具、区域の制限は厳しく、従つて船団編成も16船団、460隻の独航船規模で出漁、5月下旬から8月上旬までの間に7万屯、約4,200万尾(内白鮭1,286万尾)を漁獲した。

その魚種別漁獲高は下表の通りである。

第7表 昭和34年度 北洋漁業漁獲高

べにざけ	しろざけ	ます	銀ます	ますのすけ	合 計
18,463 t	23,787 t	25,252 t	3,215 t	200 t	70,917 t
9,125,000尾	12,859,000尾	18,856,000尾	1,423,000尾	68,000尾	42,331,000尾

一方北緯48度以南鮭鱒流網漁業は鮭2万屯（約680万尾）鱒4万7千屯（約3,100万尾）と昨年を大きく上廻る豊漁に恵まれ、更に沿岸定置（日本海流網を含む）においても鮭54屯（約170万尾）鱒7千屯（約517万尾）と近年にない大豊漁をもつて終了した。

その実績は下表に示す通りである。

第8表 昭和34年度 北緯49度以南鮭、鱒漁獲高並に定置漁獲高

鮭		鱒	
定 置	48 度 以 南	定置及び日本海流網	48 度 以 南
5,221,170kg	20,697,240kg	7,766,190kg	47,744,990kg
1,740,390尾	6,899,080尾	5,177,460尾	31,829,990尾
計			
25,918,410kg		55,511,180kg	
8,639,470尾		37,037,450尾	

又、産卵群の河川浜上状況をみると、鮭ではオコック海区及び根室の西別、標津の両河川が豊漁に恵まれ、他は例年並、或はそれ以下であつたが、総計で捕獲数353,499尾、採卵数410,322,990粒と前年に引続いて好成績を示し、鱒では樺太、桜共不況のうちに終了した。

6. 鮭 増 殖 事 業

(1) 鮭増殖事業概況

本年度は親魚捕獲373,200尾、採卵405,353,000粒の計画数をもつて直営20個所、委託53個所、計73個所の捕獲採卵場において実施した。本年度は昭和31年の放流数からみて好漁は期待出来ず、計画数を遙かに下廻るとの予想であつたが、全般的に薄漁にも拘らず、後期に至つて根室管内の西別川が全捕獲数の32.6%に当る115,386尾を確保し、そのため総計では計画数の94.7%に当る353,499尾を捕獲した。このことは年々魚群が道東に偏した顕著なもので、今後一層の研究を要するところである。

採卵事業では、年々改善を加えられ、技術的にも充実して来た蓄養施設を充分活用する事が出来たので、計画数の101.2%に達する410,322,990粒の好成績を挙げる事が出来た。その結果雌使用率も90.2%と近年稀にみる高率を示した。

これらは蓄養及び採卵技術の向上によることは勿論であるが、民間委託者の採卵意欲の向上を見逃がす事は出来ない。

この内容は次表の通りである。

(参 考) 第9表 事業計画と実績並びに前年度との比較

区 分	昭 和 3 4 年 度			昭 和 33 年 度	前 年 度 と の 対 比 増 減
	計 画 数	実 績	達 成 率		
捕 獲 数	373,200尾	353,499尾	94.7	489,369尾	減 135,870
♀ 使 用 数	153,330	156,211	101.9	215,432	△ 159,221
採 卵 数	405,353,000粒	410,322,990粒	101.2	566,417,330粒	△ 156,094,340
収 容 前 死 卵 数	—	34,568,530	—	41,242,220	△ 6,673,690
収 容 卵 数	389,620,000	375,754,460	—	525,175,110	△ 149,420,650

次にこれを支場別にみると

(北見支場管内)

前年同様直営3個所、委託8個所の捕獲採卵場において実施したが、捕獲、採卵共前年を上廻る好成績で計画数に対しては捕獲161.2%の81,272尾、採卵144.8%の71,766,100粒の好成績を収めた。これは前年不振だつた網走が好漁だつたことと湧別が後期に浜上魚があり、前年を上廻る好成績を挙げたためである。

(根室支場管内)

前年同様の規模で捕獲数91,100尾採卵数105,242,000粒の計画数をもつて実施したが、捕獲では170.6%の173,651尾、採卵では206.5%の217,276,090粒の好成績を挙げた。しかしながらこの内容は殆んどが西別川に偏し、管内の約65%の捕獲と約60%の採卵成績を示し、他はむしろ例年より下廻る成績であつた。西別川の好漁は前年同様、河川の切替による河口閉鎖のなかつた事が大きく原因している。

(十勝支場管内)

本年度は計画数に対して捕獲では41.0%に当る64,890尾と採卵では52.2%の84,568,460粒とまことに不振な成績で終つた。この原因には次のような事が云える。

1. 沿岸には相当数の産卵群が洄游したが、河川水が少なく浜上出来なかつた。
2. 計画数が5ヶ年計画に基いて作製されたため老大なもので、その裏付けたる諸施設がなされていながつたので漁獲努力に欠けていた。

(天塩支場管内)

本年度は捕獲数18,630尾、採卵数20,479,000粒の計画数をもつて事業を実施したが、2度に亘る台風で多大の被害を受け、計画に対して捕獲では35.5%、採卵では44.1%とすこぶる不況な成績に終つた。しかしオコック海区はむしろ台風による降雨が幸して、漁期の後半は適度な水位となつたため、計画数を30~40%越える好成績を収めた。

(千歳支場管内)

本年度は計画数40,350尾の捕獲と、36,004,000粒の採卵をもつて13個所の捕獲採卵場で事業を実施したが、石狩水系が意外に不況で漸く日高において鶴川と勇払が計画数を越えたのみであつたため、捕獲では34.0%、採卵では31.1%と不振な成績で終つた。

なお、勇払は前年に引続いて調査河川として天然産卵を実施した。

(渡島支場管内)

事業実施個所のうち直営5個所、委託3個所と殆んどが直営で実施したが、近年目立つて好況を示し

ている茂辺地が昭和33年度に次ぐ好成績を収め、捕獲では管内の68.3%、採卵では54.7%と半数以上を占めたので名駒、遊楽部の不況があつたにも拘らず、計画数に対し捕獲では86.2%の13,239尾、採卵では77.6%の16,484,200粒を示し、まあまあの成績をもって終了した。

以上捕獲採卵成績の概況について述べたが、蓄養施設の充実化は近年とみに研究を加えられて来ているところであるが、卵子の輸送技術とこれに伴うふ化施設の充実化はまだだと云つたところで一層の努力を要する。

(2) 昭和34年度鮭増殖事業成績

① 支事業場別鮭親魚捕獲採卵成績

第10表			支、事、業、場、別、鮭、親					
支 場	事 業 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数			
		♀	♂	計	♀	♂	計	
北 見	支 場 岩 尾 別 斜 里 琴 藻 網 走 湧 別 渚 滑 興 部 幌 内	尾	尾	尾	尾	尾	尾	
		4,114	4,962	9,076	3,501	1,241	4,742	
		0	0	0	0	0	0	
		283	258	541	283	117	400	
		623	674	1,297	595	305	900	
		14,400	18,661	33,061	11,516	2,549	14,065	
		14,102	21,100	35,202	12,148	5,999	18,147	
		194	184	378	175	67	242	
		50	69	119	49	20	69	
	934	664	1,598	893	424	1,317		
計	本 前	年 年	34,700	46,572	81,272	29,160	10,722	39,882
			30,159	29,840	59,999	22,313	8,202	30,515
根 室	支 場 羅 臼 別 薰 仁 津 伊 中 計 虹 別 浜 中 厚 床	17,128	13,940	31,068	16,768	6,466	23,234	
		1,492	1,348	2,840	1,327	504	1,831	
		5,884	3,331	9,215	5,493	2,461	7,954	
		1,059	647	1,706	1,059	430	1,489	
		1,272	972	2,244	1,253	571	1,824	
		3,197	2,441	5,638	3,192	1,267	4,459	
		54,334	61,052	115,386	53,006	19,452	72,458	
		1,059	1,058	2,117	998	354	1,352	
		1,917	1,520	3,437	1,917	806	2,723	
	計	本 前	年 年	87,342	86,309	173,651	85,013	32,311
118,327				111,837	230,164	112,309	42,697	155,006
十 勝	支 場 太 田 路 釧 居 寒 鶴 糠 別 阿 幕 内 白 札 樹 大	14,735	13,602	28,337	10,127	2,128	12,255	
		5,898	3,884	9,782	5,724	2,622	8,346	
		7,788	6,803	14,596	7,383	3,240	10,623	
		3,716	3,206	6,922	3,548	1,482	5,030	
		515	397	912	309	103	412	
		613	623	1,236	524	139	663	
		775	924	1,699	737	283	1,020	
		47	65	112	16	15	31	
		651	643	1,294	585	272	857	
	計	本 前	年 年	34,738	30,152	64,890	28,953	10,284
69,768				65,648	135,416	54,234	20,982	75,216

～この表の説明～

本年も前年同様、沂上魚が道東に偏重し、道外移殖はなかつたが、長距離輸送、孵化室の二重使用、発眼卵の養魚池撒布を余儀なくされ、前年に次ぐ大量の死卵数を出した。このことは近年とみに内容を分析され研究を重ねられているところであるが、機構にしばられ、或は機動力等に対する予算不足が大きく影響して、改善に踏み切れない面があり、5ヶ年計画達成の上からも緊急対策を講ずる必要がある。

成績を個々についてみると、前年不振だった網走の好漁と湧別の引続きの好況で前年を遙かに越える成績を挙げた北見管内が前年を上廻る成績を示した以外は全部前年より下廻る成績であつた。しかし概況でも述べたように西別、標津の両川に沂上魚が偏重した事と、十勝、石狩の大河川が水質の汚濁もあつて不況であつた事は寂しい事であつた。雌親魚使用率では札内の34.0%、石狩の5.7%と不成績はあつたが、蓄養、採卵の技術の向上と民間委託者の採卵意欲の向上があつて総計で90.2%と近年稀にみる好成績をあげた事はよろこばしい事であつた。

魚 捕 獲 採 卵 成 績 表					
採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使 用 率	平 均 採 卵 数	期 間
粒	粒	粒	%	粒	
8,970,400	415,400	8,555,000	85.1	2,562	9. 1～12.23
0	0	0	0	0	
771,800	21,800	750,000	100.0	2,727	9.20～12.25
1,649,500	49,500	1,600,000	95.5	2,772	9. 1～12.15
27,104,300	1,415,400	25,688,900	80.0	2,354	9. 7～12.25
30,338,700	2,131,850	28,206,850	86.1	2,497	9. 1～12.20
411,900	7,000	404,900	90.2	2,353	9. 1～12.16
168,500	6,000	162,500	98.0	3,438	9. 1～11. 5
2,351,000	16,000	2,335,000	95.6	2,633	9. 1～12.20
71,766,100	4,062,950	67,703,150	84.0	2,465	
62,579,820	3,413,320	59,166,500	74.0	2,805	
42,573,940	3,446,340	39,132,600	98.2	2,539	9. 8～12.25
3,209,260	21,760	3,187,500	88.9	3,330	9.21～12.25
13,038,990	415,490	12,623,500	93.4	2,373	9.11～12.15
2,690,400	75,400	2,015,000	100.0	2,549	9.18～12. 6
3,141,830	126,830	3,015,000	98.5	2,309	9.20～12.20
8,222,000	405,500	7,816,500	99.8	2,570	9.11～12.10
136,302,560	19,459,860	116,842,700	98.1	2,571	9. 2～ 1.30
2,916,250	57,650	2,858,600	94.2	2,922	9.11～11.20
5,180,860	55,860	5,125,000	100.0	2,703	9. 1～11.20
217,276,090	24,059,690	193,216,400	97.7	2,556	
274,954,530	24,926,430	250,028,100	94.9	2,450	
30,866,000	2,173,500	28,692,500	68.7	3,048	9. 5～11.29
15,034,750	485,750	14,549,000	97.0	2,627	9.17～11.28
20,672,300	2,432,000	18,240,300	94.8	2,800	9.18～12.13
11,645,000	246,000	11,399,000	95.5	3,282	9.22～11.27
980,000	20,000	960,000	60.0	3,172	9.10～11.19
1,533,260	24,260	1,509,000	85.5	2,926	9.24～12. 8
2,227,500	78,400	2,149,100	95.1	3,122	9.11～11.20
37,450	550	36,900	34.0	2,341	9.11～12.24
1,572,200	138,400	1,433,800	89.9	2,688	10. 5～12.25
84,568,460	5,598,860	78,969,600	83.3	2,921	
154,069,760	10,558,330	143,511,430	77.8	2,840	

支 場	事 業 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
天 塩	支 場 徳 志 別 歌 登 別 屯 別	尾 1,147	尾 990	尾 2,137	尾 947	尾 252	尾 1,199
		418	551	969	331	134	465
		230	241	471	198	69	267
		1,812	1,218	3,030	1,786	770	2,556
	計 { 本 前 年	3,607	3,000	6,607	3,262	1,225	4,487
		8,982	8,211	17,193	8,077	2,189	10,266
千 歳	支 場 石 狩 江 音 生 敷 老 白 弘 勇 冠 新 内 静 石 三 河 元 浦	1,134	849	1,983	1,132	609	1,741
		1,152	2,249	3,401	66	0	66
		683	722	1,405	538	129	667
		286	216	502	278	154	432
		249	164	413	239	140	379
		1,121	882	2,003	0	0	0
		412	550	962	334	187	521
		942	745	1,687	747	479	1,226
		151	131	282	101	43	144
		518	684	1,202	516	221	737
	計 { 本 前 年	6,648	7,192	13,840	3,951	1,962	5,913
		15,946	16,003	31,949	11,644	5,712	17,356
渡 島	尻 別 朱 太 利 別 厚 沢 知 部 遊 内 楽 部	125	125	250	117	66	183
		55	96	151	42	28	70
		653	441	1,094	653	240	893
		497	465	962	461	237	698
		3,775	5,583	9,358	3,697	1,617	5,314
		991	433	1,424	902	288	1,190
		6,096	7,143	13,239	5,872	2,476	8,348
	計 { 本 前 年	6,947	7,701	14,648	6,765	3,270	10,035
本 年 度 合 計		173,125	180,374	353,499	156,211	59,077	215,288
前 年 度 合 計		250,129	239,240	489,369	215,432	83,052	298,484
比 較 { 増 減		77,004	58,866	135,870	59,221	23,975	83,196

② 支事業場別稚鮭孵化放流成績

～この表の説明～

前年度同様発眼卵での養魚池撒布等による無理な収容実態と渚滑の用水に鉄バクテリアの発生によって総計で86.0%と前年を下廻る孵出率に止まった。支場別には渡島が91.9%と前年を上廻る好成績を示し、千歳の91.4%、天塩の87.5%、十勝の87.0%、北見の86.7%と無理な収容を余儀なくされた根室が前年を更に下廻る84.2%と最下位であつた。し

第11表

支 事 業 場 別 鮭

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間	
							自	至
北 見	支 場 岩 尾 別 斜 里 藻 琴	粒 8,730,000	粒 932,500	尾 7,797,500	% 89.3	尾 7,410,000	4.30 ～ 5.10	
		5,422,500	1,015,400	4,407,100	81.3	4,340,000	6.21 ～ 6.30	
		5,659,600	1,152,800	4,506,800	79.6	4,300,000	4.21 ～ 5.20	
		6,960,000	816,700	6,143,300	88.3	6,140,000	3.13 ～ 6.10	

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 使 用 率	平 均 採 卵 数	期 間
粒 2,714,870	粒 126,360	粒 2,588,510	% 82.6	粒 2,860	9. 1～11.29
838,700	12,300	826,400	83.1	2,534	9.16～11.30
540,000	4,700	535,300	86.1	2,727	9.26～11.20
4,936,350	80,350	4,856,000	98.6	2,764	9.21～12. 5
9,029,920	223,710	8,806,210	90.4	2,768	
22,516,750	1,104,170	21,412,570	90.0	2,788	
3,662,500	42,000	3,620,500	99.8	3,235	9.15～12.21
179,600	4,600	175,000	5.7	2,721	9. 1～10.25
1,364,000	28,000	1,336,000	78.8	2,535	8.21～10.17
780,200	15,200	765,000	97.2	2,806	10. 7～12.28
670,120	12,620	657,500	96.0	2,804	9.16～12.31
(調 査 河 川)					8.25～ 1.31
876,200	29,800	846,400	81.1	2,623	9.15～12. 3
2,062,300	69,800	1,992,500	79.4	2,757	9.20～12.11
250,600	1,100	249,500	66.9	2,481	10.11～12.10
1,352,700	20,200	1,332,500	99.6	2,622	9.16～12.23
11,198,220	223,320	10,974,900	59.6	2,826	
33,672,370	660,970	33,011,400	73.0	2,660	
300,200	4,800	295,400	93.6	2,566	10. 1～11.30
105,200	200	105,000	76.4	2,505	9.14～11.23
2,021,000	3,500	2,017,500	100.0	3,095	10. 1～11.30
1,258,000	8,000	1,250,000	92.8	2,729	10.11～12.10
9,688,300	215,500	9,472,800	97.9	2,621	10. 1～12.24
3,111,500	68,000	3,043,500	91.1	3,450	9.20～12.28
16,484,200	300,000	16,184,200	96.3	2,807	
18,624,100	579,000	18,045,100	97.4	2,750	
410,322,990	34,568,530	375,754,460	90.2	2,627	
566,417,330	41,242,220	525,175,110	86.1	2,610	
156,094,340	6,673,690	149,420,650			

かしながら特記すべきは殆んどが稚魚になつてから3月13日に道東地方に異例の豪雨があり、そのため養魚池が融雪による濁流に見舞はれ場員の必死の処置によつて支場は被害をまぬがれたが、中標津は砂泥の堆積により約100万尾の稚魚の流失と50万尾の窒息と太田20万尾、阿寒30万尾の流失を出した事はまことに残念であつたが、現場場員の並々ならぬ努力には敬意を表する次第である。

孵 化 放 流 成 績 表

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間	
							自	至
北 見	網 走 湧 別 渚 滑 興 部	粒 6,032,500	粒 868,200	尾 5,134,300	% 85.5	尾 5,100,000	3.25 ～ 5.18	
		15,745,500	1,653,100	14,092,400	89.5	13,444,000	3.20 ～ 6.30	
		1,796,600	520,420	1,276,180	71.0	1,245,600	4. 8 ～ 4.30	
		1,162,500	112,100	1,050,400	90.4	1,040,000	3.20 ～ 5.31	

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間	
							自	至
北 見	幌 内 計	粒 4,525,000	粒 353,700	尾 4,171,300	% 92.2	尾 4,050,000	5. 1～ 5.31	
		本年 56,004,200	7,424,920	48,579,280	86.7	47,069,600		
		前年 78,684,500	8,116,100	70,568,400	89.7	65,073,000		
根 室	支 場	8,885,000	1,877,600	7,007,400	78.9	6,650,000	5.15～ 5.25	
	羅 白	10,025,000	1,002,450	9,022,550	90.0	8,833,000	3. 1～ 6.30	
	薫 別	26,430,000	5,401,820	21,028,180	79.6	20,841,600	4.28～ 6.30	
	伊 茶 仁	9,462,500	1,416,100	8,046,400	85.0	7,925,800	4. 1～ 6.30	
	中 標 津	12,232,500	1,740,590	10,491,910	85.9	8,195,000	5.10～ 6.23	
	計 根 別	9,052,500	1,139,700	7,912,800	87.4	7,600,000	3.20～ 6.20	
	虹 別	65,735,500	10,569,980	55,165,520	83.8	52,205,200	1.20～ 5.15	
	浜 中	6,500,800	753,610	5,747,190	88.4	5,653,190	4.16～ 6.13	
	厚 床	4,205,000	211,500	3,993,500	95.0	3,957,500	4.21～ 5.15	
	(床 丹)	864,000	195,000	669,000	77.4	630,000	3.25～ 5. 7	
	計	本年 153,392,800	24,308,350	129,084,450	84.2	122,491,290		
	前年	190,279,500	27,452,010	162,827,490	85.6	159,262,100		
十 勝	支 場	20,530,900	2,587,800	17,943,100	87.4	17,045,900	4. 1～ 5.31	
	太 田	6,597,500	1,298,900	5,298,600	80.3	4,751,800	4.21～ 5.25	
	釧 路	25,390,300	5,531,400	19,858,900	78.2	19,235,900	3.10～ 5.20	
	鶴 居	5,892,500	257,600	5,634,900	95.6	5,550,000	3. 5～ 5.24	
	阿 寒	2,902,500	161,800	2,740,700	94.4	2,698,500	4. 1～ 5.20	
	白 糠	1,192,500	68,700	1,123,800	94.2	1,110,000	4.10～ 5.31	
	幕 別	14,180,300	1,558,900	12,621,400	89.0	12,541,500	3.20～ 4.30	
	札 内	17,458,000	921,800	16,536,200	94.7	16,373,000	3. 1～ 4.30	
	大 樹	3,227,400	354,200	2,873,200	89.0	2,794,000	2.20～ 4.30	
	(音 別)	316,500	18,500	298,000	94.2	295,000	4.10～ 4.30	
	(利 別)	168,800	6,300	162,500	96.3	161,000	2.20～ 3.15	
	計	本年 97,857,200	12,765,900	85,091,300	87.0	82,556,600		
	前年	124,985,700	16,447,150	108,538,550	86.8	99,356,900		
天 塩	支 場	6,781,870	681,000	6,100,870	90.0	5,613,000	4.18 ～ 7. 8	
	(ロクシナイ)	620,240	81,330	538,910	86.9	506,000	4.15 ～ 4.15	
	名 寄	3,149,850	652,510	2,497,340	79.3	2,315,000	4.28 ～ 5.25	
	徳 志 別	826,400	114,300	712,100	86.2	640,000	6. 1 ～ 6.15	

③海区水系別鮭親魚捕獲採卵成績

～この表の説明～

海区別には前述したように網走、湧別、好漁によつてオホツク海区が前年の不調を挽回して好成績を収めた以外は、全部前年には及ばず、特に襟裳以東日本両海区は前年の半数にも達しなかつた。この不調の海区では阿寒が9月下旬の台風15号の影響を受け増水被害のため♀114尾を逃逸、♀親魚使用率70.0%に止まり、更に打内は水質汚濁のため♀1,495尾

第12表

海 区 水 系 別 鮭 親 魚

海 区	水 系	支・事業場	採 卵 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数		
				♀	♂	計	♀	♂	計
オホ ツク 区	岩 尾 別 斜 里 藻 琴	岩 尾 別 斜 里 藻 琴	岩 尾 別 斜 里 藻 琴	尾 0	尾 0	尾 0	尾 0	尾 0	尾 0
				283	258	541	283	117	400
				623	674	1,297	595	305	900

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	卵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間	
							自	至
天 塩	歌 登 屯 別 計	粒 2,077,800	粒 245,800	尾 1,832,000	% 88.2	尾 1,820,000	3. 1～ 5.30	
		6,256,900	685,200	5,571,700	89.0	5,405,200	3.15～ 3.31	
		本年 19,713,060	2,460,140	17,252,920	87.5	16,299,200		
		前年 22,821,070	3,129,110	19,691,960	86.3	16,907,600		
千 歳	支 場	16,049,000	3,036,400	13,012,600	81.1	12,750,000	3.16～ 5.25	
	音 江	3,015,000	320,500	2,694,500	89.4	2,589,000	4.21～ 6.22	
	元 浦 河	2,232,500	107,400	2,125,100	95.2	2,110,000	3.15～ 4.30	
	三 石	249,500	12,500	237,000	95.2	230,000	3.20～ 4.30	
	静 内	6,342,500	594,500	5,748,000	90.6	5,541,500	4. 7～ 5.26	
	(鶴 川)	496,400	58,900	437,500	88.1	420,400	4. 1～ 4.30	
	白 老	1,682,500	94,400	1,588,100	94.4	1,580,000	3.14～ 4.28	
	敷 生	1,865,000	143,400	1,721,600	92.3	1,718,600	3.14～ 4.25	
	計	本年 31,932,400	4,368,000	27,564,400	91.4	26,939,500		
	前年	47,824,700	3,558,800	44,265,900	92.5	43,234,200		
渡 島	尻 別	2,015,400	68,000	1,947,400	96.6	1,946,700	3.20～ 5.25	
	朱 太	2,135,000	263,200	1,871,800	87.7	1,839,100	4. 1～ 5.21	
	利 別	2,017,500	99,000	1,918,500	95.1	1,903,000	3.20～ 4.21	
	厚 沢 部	2,170,000	152,100	2,017,900	93.0	2,010,000	2.15～ 3.25	
	遊 楽 部	2,975,000	199,000	2,776,000	93.3	2,744,000	3.15～ 5.18	
	八 雲	3,085,000	202,100	2,882,900	93.4	2,854,000	3.20～ 4.30	
	(茂辺地)	4,323,300	559,200	3,764,100	87.1	3,763,600	3. 1～ 4.21	
	知 内	1,202,500	67,800	1,134,700	94.4	1,132,500	3. 1～ 6. 5	
	計	本年 19,923,700	1,610,400	18,313,300	91.9	18,192,900		
	前年	37,215,900	3,688,900	33,527,000	90.1	33,403,900		
本 年 度 合 計		378,823,360	52,937,710	325,885,650	86.0	313,549,090		
前 年 度 合 計		501,811,370	62,392,070	439,419,300	87.6	417,237,700		
比 較	増							
	減	122,988,010	9,454,360	113,533,650		103,688,610		

が斃死、使用率50.9%に止まつた。日本海区では石狩が本年から陸上蓄養池を施設したが、用水不足のため、初期のものは全々蓄養出来ず、更に♀301尾の蓄養に対して♀235尾を斃死させたことにより、使用率5.7%にしか達しなかつた事は残念であり、この陸上蓄養池についてはなお一層の研究を要する。なお勇払、面川は調査河川のため一尾も採卵していない。

捕 獲 採 卵 成 績 表

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 率	平均採卵数	期 間
粒 0	粒 0	粒 0	% 0	粒 0	
771,800	21,800	750,000	100.0	2,749	9.20～12.25
1,649,500	49,500	1,600,000	95.5	2,772	9. 1～12.15

海 区	水 系	支・事業場	採 卵 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数		
				♀	♂	計	♀	♂	計
オ コ ッ ク 海 区	網 走	網 走	網 走	尾	尾	尾	尾	尾	尾
	〃	〃	西 網 走	13,549	17,391	30,940	10,672	2,202	12,874
			小 計	851	1,270	2,121	844	347	1,191
	常 呂	北 見	常 呂	14,400	18,661	33,061	11,516	2,549	14,065
	〃	〃	端 野	2,578	3,162	5,740	2,071	630	2,701
			小 計	1,536	1,800	3,336	1,430	611	2,041
	湧 別	湧 別	湧 別	4,114	4,962	9,076	3,501	1,241	4,742
	渚 滑	渚 滑	渚 滑	14,102	21,100	35,202	12,148	5,999	18,147
	興 部	興 部	興 部	194	184	378	175	67	242
	雄 武	雄 武	雄 武	50	69	119	49	20	69
	幌 内	〃	幌 内	20	26	46	15	7	22
	風 烈 布	德 志 別	風 烈 布	914	638	1,552	878	417	1,295
	徳 志 別	〃	徳 志 別	1	3	4	0	0	0
	幌 別	歌 登 別	北 見 幌 別	417	548	965	331	134	465
日 本 海 区	屯 別	屯 別	屯 別	230	241	471	198	69	267
				1,812	1,218	3,030	1,786	770	2,556
	海 区	計	本 前 年 度	37,160	48,582	85,742	31,475	11,695	43,170
				32,813	32,836	65,649	24,788	9,029	33,817
	天 塩	天 塩	天 塩	425	476	901	332	80	412
	〃	〃	佐 久	722	514	1,236	615	172	787
			小 計	1,147	990	2,137	947	252	1,199
	石 狩	石 狩	石 狩	1,152	2,249	3,401	66	0	66
	〃	音 江	音 江	683	722	1,405	538	129	667
	〃	千 歳	西 越	1,134	849	1,983	1,132	609	1,741
			小 計	2,969	3,820	6,789	1,736	738	2,474
	尻 別	尻 別	名 駒	125	125	250	117	66	183
	利 別	利 別	冷 水	653	441	1,094	653	240	893
	朱 太	朱 太	作 開	55	96	151	42	28	70
根 室 海 区	厚 沢 部	厚 沢 部	厚 沢 部	497	465	962	461	237	698
	海 区	計	本 前 年 度	5,446	5,937	11,383	3,956	1,561	5,517
				15,937	15,484	31,421	11,900	4,235	16,135
	羅 臼	羅 臼	羅 臼	1,368	1,280	2,648	1,207	447	1,654
	春 刈 古 丹	〃	春 刈 古 丹	124	68	192	120	57	177
	植 別	薫 別	植 別	484	270	754	444	186	630
	元 崎 無 異	〃	元 崎 無 異	30	22	52	26	13	39
	崎 無 異	〃	崎 無 異	1,504	775	2,279	1,360	540	1,900
	薫 別	〃	薫 別	3,851	2,257	6,108	3,648	1,715	5,363
	古 多 糠	〃	古 多 糠	15	7	22	15	7	22
	忠 類	伊 茶 仁	忠 類	313	211	524	313	137	450
	伊 茶 仁	〃	伊 茶 仁	746	436	1,182	746	293	1,039
	標 津	根 室	5 線	17,128	13,940	31,068	16,768	6,466	23,234
	〃	中 標 津	標 津	0	0	0	0	0	0
〃 海 区	〃	〃	武 佐	1,272	972	2,244	1,253	571	1,824
			小 計	18,400	14,912	33,312	18,021	7,037	25,058
	当 幌	計 根 別	当 幌	2,570	2,002	4,572	2,565	1,024	3,589
	春 別	〃	春 別	300	205	505	300	124	424
	床 丹	〃	床 丹	327	234	561	327	119	446
	西 別	虹 別	14 線	52,225	60,451	112,676	50,921	18,948	69,869

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀ 親 魚 率	平 均 採 卵 数	期 間
粒	粒	粒	%	粒	
25,009,200	1,352,600	23,656,600 (内 卵 272,800 含まず)	78.8	2,357	9. 1~12.25
2,095,100	62,800	2,032,300	99.2	2,482	10.16~12.20
27,104,300	1,415,400	25,688,900	80.0	2,354	
5,228,900	316,400	4,912,500	80.3	2,525	9. 1~12.18
3,741,500	99,000	3,642,500	93.1	2,617	9. 8~12.23
8,970,400	415,400	8,555,000	85.1	2,562	
30,338,700	2,131,850	28,206,850	86.1	2,497	9. 1~12.20
411,900	7,000	404,900	90.2	2,354	9. 1~12.16
168,500	6,000	162,500	98.0	3,439	9. 1~11. 5
45,400	400	45,000	75.0	3,027	10. 2~10.31
2,305,600	15,600	2,290,000	96.1	2,620	9. 1~12.20
0	0	0	0	0	10.22~10.30
838,700	12,300	826,400	79.4	2,534	9.16~11.30
540,000	4,700	535,300	86.1	2,727	9.26~11.20
4,936,350	80,350	4,856,000	98.6	2,764	9.21~12. 5
78,081,150	4,160,300	73,920,850	84.7	2,481	
69,046,320	3,509,590	65,536,730	75.6	2,790	
961,120	90,670	870,450	78.1	2,895	9.15~11.22
1,753,750	35,690	1,718,060	85.2	2,852	9. 1~11.29
2,714,870	126,360	2,588,510	82.6	2,867	
179,600	4,600	175,000	5.7	2,721	9. 1~10.25
1,364,000	28,000	1,336,000	78.8	2,535	8.21~10.17
3,662,500	42,000	3,620,500	99.8	3,235	9.15~12.21
5,206,100	74,600	5,131,500	58.5	3,000	
300,200	4,800	295,400	93.6	2,566	10. 1~11.30
2,021,000	3,500	2,017,500	100.0	3,095	10. 1~11.30
105,200	200	105,000	76.4	2,505	9.14~11.23
1,258,000	8,000	1,250,000	92.8	2,729	10.11~12.10
11,805,370	217,460	11,587,910	72.6	2,934	
35,295,550	1,216,500	34,079,050	74.7	2,970	
2,905,760	18,260	2,887,500	88.2	2,407	10.21~12.25
303,500	3,500	300,000	96.8	2,529	9.21~12.10
1,051,940	35,940	1,016,000	91.7	2,777	9.11~12.15
57,180	1,680	55,500	86.7	2,199	11. 1~12.10
3,156,600	88,000	3,068,600	90.4	2,321	9.13~12.15
8,740,010	289,010	8,451,000	94.7	2,396	9.16~12.12
33,260	860	32,400	100.0	2,217	10.27~12.10
759,100	19,100	740,000	100.0	2,425	9.18~11.25
1,931,300	56,300	1,875,000	100.0	2,589	10. 1~12. 6
42,573,940	3,441,340	39,132,600	97.9	2,539	9. 8~12.26
0	0	0	0	0	
3,141,830	126,830	3,015,000	98.7	2,509	9.21~12.20
45,715,770	3,568,170	42,147,600	97.9	2,537	
6,538,000	337,500	6,200,500	99.8	2,549	9.11~12.10
788,000	46,000	742,000	100.0	2,627	9.11~12. 5
896,000	22,000	874,000	100.0	2,740	9.11~12. 5
130,637,820	18,905,120	111,732,700	97.5	2,565	9.11~ 1.30

④海区水系別鮭孵化放流成績

～この表の説明～

渚滑における鉄バクテリア発生による被害及び道東における3月13日の豪雨のため、標津川及び別寒辺牛、阿寒両川で稚魚を流失又は窒息死し、そのため成績低下を余儀なくされた以外は特記すべき事項もなく順調に終了した。

第13表 海区水系別鮭孵化放流成績

海区	水系	事業場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間 自 至
オ コ ッ ク 海 区	岩尾別	岩尾別	5,422,500	1,015,400	4,407,100	81.3	4,340,000	6.21～6.30
	斜里斜	斜里斜	5,659,600	1,152,800	4,506,800	79.6	4,300,000	4.21～5.20
	藻琴藻	藻琴藻	6,960,000	816,700	6,143,300	88.3	6,140,000	3.13～6.10
	網走網	網走網	6,002,500	868,200	5,134,300	85.5	5,100,000	3.25～5.18
	常呂北	見	8,730,000	932,500	7,797,500	89.3	7,410,000	4.30～5.10
	湧別湧	別	15,745,500	1,653,100	14,092,400	89.5	13,444,000	3.20～6.30
	渚滑渚	滑	1,796,600	520,420	1,276,180	71.0	1,245,600	4.8～4.30
	興部興	部	1,162,500	112,100	1,050,400	90.4	1,040,000	3.20～5.31
	幌内幌	内	4,525,000	353,700	4,171,300	92.2	4,050,000	5.1～5.31
	徳志別	徳志別	826,400	114,300	712,100	86.2	640,000	6.1～6.15
	幌歌登	別	2,077,800	245,800	1,832,000	88.2	1,820,000	3.1～5.30
	幌別	別	6,256,900	685,200	5,571,700	89.0	5,405,200	3.15～3.31
	海区計		65,165,300	8,470,220	56,695,080	87.0	54,934,800	
日 本 海 区	天塩天	塩	6,781,870	681,000	6,100,870	90.0	5,613,000	4.18～7.8
	ク	(ククナイ)	620,240	81,330	538,910	86.9	506,000	4.15～4.15
	ク	名寄	3,149,850	652,510	2,497,340	79.3	2,315,000	4.28～5.25
	天塩川	計	10,551,960	1,414,840	9,137,120	86.6	8,434,000	
	石狩千	歳	16,049,000	3,036,400	13,012,600	81.1	12,750,000	3.16～5.25
	ク	音江	3,015,000	320,500	2,694,500	89.4	2,589,000	4.21～6.22
	石狩川	計	19,064,000	3,356,900	15,707,100	82.4	15,339,000	
	尻別尻	別	2,015,400	68,000	1,947,400	96.6	1,946,700	3.20～5.25
	朱太朱	太	2,135,000	263,200	1,871,800	87.7	1,839,100	4.1～5.21
	利別利	別	2,017,500	99,000	1,918,500	95.1	1,903,000	3.20～4.21
	厚沢部	厚沢部	2,170,000	152,100	2,017,900	93.0	2,010,000	2.15～3.25
	海区計		37,953,860	5,354,040	32,599,820	85.9	31,471,800	
根 室 海 区	羅白羅	白	10,025,000	1,002,450	9,022,550	90.0	8,833,000	3.1～6.30
	薫別薫	別	26,430,000	5,401,820	21,028,180	79.6	20,841,600	4.28～6.30
	伊茶仁	伊茶仁	9,462,500	1,416,100	8,046,400	85.0	7,925,800	4.1～6.30
	標津根	室	8,885,000	1,877,600	7,007,400	78.9	6,650,000	5.15～5.25
	ク	中標津	12,232,500	1,740,590	10,491,910	85.9	8,195,000	5.10～6.23
	標津川	計	21,117,500	3,618,190	17,499,310	82.9	14,845,000	
	当幌計	根別	9,052,500	1,139,700	7,912,800	87.4	7,600,000	3.20～6.20
	床丹(床丹)		864,000	195,000	669,000	77.4	630,000	3.25～5.7
	西別虹	別	65,735,500	10,569,980	55,165,520	83.8	52,205,200	1.20～5.15
	風蓮浜	中	6,500,800	753,610	5,747,190	88.4	5,653,190	4.16～6.13
	別当賀厚	床	4,205,000	211,500	3,993,500	95.0	3,957,500	4.21～5.15
	海区計		153,392,800	24,308,350	129,084,450	84.2	122,491,290	
襟 裳 以 東 区	別寒辺牛	太田	6,597,500	1,298,900	5,298,600	80.3	4,751,800	4.21～5.25
	釧路	釧路	25,390,300	5,531,400	19,858,900	78.2	19,235,900	3.10～5.20
	ク	鶴居	5,892,500	257,600	5,634,900	95.6	5,550,000	3.5～5.24

海区	水系	事業場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間 自 至
襟 裳 以 東 海 区	釧路川	計	31,282,800	5,789,000	25,493,800	81.5	24,785,900	
	阿寒阿	寒	2,902,500	161,800	2,740,700	94.4	2,698,500	4.1～5.20
	茶路白	糠	1,192,500	68,700	1,123,800	94.2	1,110,000	4.10～5.31
	音別(音別)		316,500	18,500	298,000	94.2	295,000	4.10～4.30
	十勝十	勝	20,530,900	2,587,800	17,943,100	87.4	17,045,900	4.1～5.31
	ク	幕別	14,180,300	1,558,900	12,621,400	89.0	12,541,500	3.20～4.30
	ク	札内	17,458,000	921,800	16,536,200	94.7	16,373,000	3.1～4.30
	ク	(利別)	168,800	6,300	162,500	96.3	161,000	2.20～3.15
	十勝川	計	52,338,000	5,074,800	47,263,200	90.3	46,121,400	
	歴舟大	樹	3,227,400	354,200	2,873,200	89.0	2,794,000	2.20～4.30
	海区計		97,857,200	12,765,900	85,091,300	87.0	82,556,600	
襟 裳 以 西 海 区	元浦川	元浦河	2,232,500	107,400	2,125,100	95.2	2,110,000	3.15～4.30
	三石三	石	249,500	12,500	237,000	95.2	230,000	3.20～4.30
	静内静	内	6,342,500	594,500	5,748,000	90.6	5,541,500	4.7～5.26
	鵠川(鵠川)		496,400	58,900	437,500	88.1	420,400	4.1～4.30
	白老白	老	1,682,500	94,400	1,588,100	94.4	1,580,000	3.14～4.28
	敷生敷	生	1,865,000	143,400	1,721,600	92.3	1,718,600	3.14～4.25
	遊楽部	遊楽部	2,975,000	199,000	2,776,000	93.3	2,744,000	3.15～5.18
	ク	八雲	3,085,000	202,100	2,882,900	93.4	2,854,000	3.20～4.30
	遊楽部川	計	6,060,000	401,100	5,658,900	93.4	5,598,000	
	茂辺地(茂辺地)		4,323,300	559,200	3,764,100	87.1	3,763,600	3.1～4.21
本 前 比	知内知	内	1,202,500	67,800	1,134,700	94.4	1,132,500	3.1～6.5
	海区計		24,454,200	2,039,200	22,415,000	91.7	22,094,600	
	本年度合計		378,823,360	52,937,710	325,885,650	86.0	313,549,090	
比 較	前年度合計		501,811,370	62,392,070	439,419,300	87.6	417,237,700	
	増減		122,988,010	9,454,360	113,533,650		103,688,610	

7. 鱒増殖事業

(1) 鱒増殖事業概況

本年度の鱒増殖事業は8個所の直営と27個所の委託と計35個所において実施したが、桜鱒、樺太鱒共近年にない不漁で、蓄養施設は十分に活用されたが、計画数に対して捕獲、36.8%、56.2%、採卵41.1% 61.8%と甚だ不振な成績で終った。

(参考) 第14表 桜 鱒 事業計画と実績並びに前年度との対比

区 分	昭和34年度			昭和33年度	対 比	
	計 画 数	実 績	達 成 率		増	減
捕 獲 数	17,910尾	6,595尾	36.8%	7,487尾		892尾
雌 使 用 数	9,810尾	3,680尾	37.5%	3,984尾		304尾
採 卵 数	18,931,000粒	7,783,440粒	41.1%	9,114,930粒		1,331,490粒
運 搬 害 死 卵 数		192,990粒		177,840粒	15,150粒	
収 容 卵 数	18,461,000粒	7,590,450粒	41.1%	8,937,090粒		1,346,640粒

第15表 樺太鯨

区 分	昭和34年度			昭和33年度	対 比	
	計 画 数	実 績	達成率		増	減
捕 獲 数	91,540尾	51,474尾	56.2%	72,469尾		20,995尾
雌 使 用 数	34,630尾	20,019尾	57.8%	21,075尾		1,056尾
採 卵 数	46,686,000粒	28,463,670粒	61.8%	27,928,960粒	534,680粒	
運 搬 害 死 卵 数		784,180粒		828,950粒		44,770粒
収 容 卵 数	45,285,000粒	27,679,490粒	61.1%	27,100,040粒	579,450粒	

第16表

支 事 業 場 別 桜 鱒 ・ 樺 太

支 場	事 業 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
北 見	支 場	51	15	66	23	4	27
	岩 尾 別	984	751	1,735	893	313	1,206
	斜 里	121	42	163	119	42	161
	藻 琴	3,022	2,282	5,304	3,018	734	3,752
	網 走	1,649	962	2,611	1,332	556	1,888
	湧 別	1,149	991	2,140	1,044	389	1,433
	渚 滑	—	—	—	—	—	—
	興 部	355	276	631	289	118	407
	幌 内	—	—	—	—	—	—
	本年	927	697	1,624	913	221	1,134
	前年	3,737	3,431	7,168	3,154	964	4,118
	計	99	34	133	45	10	55
	本年	1,815	2,175	3,990	1,415	386	1,801
	前年	—	—	—	—	—	—
根 室	支 場	450	515	965	438	163	601
	羅 臼	21	11	32	21	11	32
	薰 別	1,923	1,942	3,865	1,462	649	2,111
	伊 茶 仁	1,941	1,064	3,005	1,540	623	2,163
	中 標 津	1,811	1,223	3,034	1,673	673	2,346
	計 根 別	14,362	13,060	27,422	12,626	3,937	16,563
	虹 別	17,113	18,686	35,799	10,066	3,538	13,604
	浜 中	398	166	559	297	104	401
	厚 床	2,008	5,311	7,319	1,938	735	2,673
	計 根 別	584	629	1,213	512	179	691
	本年	9	9	18	8	7	15
	前年	152	152	304	115	63	178
	本年	293	742	1,035	215	73	288
	前年	45	16	61	26	12	38
	計 根 別	1,759	1,620	3,379	1,729	842	2,571
	本年	367	125	492	312	115	427
	前年	390	407	797	384	181	565
	計 根 別	62	24	86	52	21	73
	本年	260	1,617	1,877	222	89	311
	前年	223	126	349	183	68	251
	計 根 別	120	199	319	60	23	83
	本年	140	42	182	140	37	177
	前年	117	150	267	115	40	155

(2) 昭和34年度鯨増殖事業成績

①支事業場別桜鱒・樺太鯨親魚捕獲採卵成績

鯨 親 魚 捕 獲 採 卵 成 績 表

註 上段 桜 鱒
下段 樺 太 鯨

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚使用率	平均採卵数	期 間
粒	粒	粒	粒	粒	
49,250	1,050	48,200	45.1	2,141	8. 1~10. 10
1,305,900	19,200	1,286,700	90.8	1,462	8. 1~10. 24
272,000	2,000	270,000	98.3	2,248	7. 1~ 9. 30
5,027,300	27,300	5,000,000	99.8	1,666	8. 11~10. 31
2,312,600	50,100	2,262,500	80.8	1,736	6. 21~ 9. 20
1,801,100	26,100	1,775,000	90.9	1,725	8. 1~10. 10
—	—	—	—	—	—
424,900	14,900	410,000	81.4	1,470	8. 11~10. 20
—	—	—	—	—	—
1,568,200	68,200	1,500,000	98.5	1,718	8. 15~10. 31
—	—	—	—	—	—
3,865,400	187,900	3,677,500	84.4	1,226	7. 24~10. 20
81,900	4,400	77,500	45.1	1,820	6. 21~10. 5
1,832,200	77,200	1,755,000	78.0	1,295	7. 22~10. 19
—	—	—	—	—	—
640,700	30,700	610,000	97.3	1,463	8. 1~10. 17
33,200	700	32,500	100.0	1,580	6. 21~10. 31
2,037,700	17,700	2,020,000	76.0	1,394	6. 21~10. 31
2,748,950	58,250	2,690,700	79.3	1,785	—
2,693,000	39,500	2,653,500	92.4	1,609	—
18,503,400	469,200	18,034,200	87.9	1,465	—
14,029,400	445,600	13,583,800	58.8	1,394	—
541,500	19,000	522,500	95.6	1,823	8. 1~10. 10
3,366,200	113,700	3,252,500	96.5	1,736	8. 1~10. 20
—	—	—	—	—	—
738,920	3,920	735,000	87.7	1,443	7. 4~10. 26
18,410	210	18,200	88.9	2,301	8. 7~ 9. 25
180,570	6,270	174,300	75.7	1,570	7. 11~10. 8
—	—	—	—	—	—
263,560	9,060	254,500	73.4	1,225	8. 5~10. 10
41,140	1,140	40,000	80.0	1,582	8. 1~10. 20
1,745,670	70,170	1,675,500	98.3	1,010	8. 21~10. 10
698,600	43,600	655,000	85.0	2,239	6. 20~10. 10
475,000	42,000	433,000	98.5	1,237	8. 11~10. 10
116,240	47,400	111,500	83.9	2,235	7. 25~ 9. 30
291,930	21,230	270,700	85.4	1,315	8. 11~10. 10
294,470	3,470	291,000	82.1	1,609	7. 1~ 9. 30
54,340	1,840	52,500	50.0	905	7. 21~10. 4
222,930	430	222,500	100.0	1,592	7. 11~ 9. 30
115,320	320	165,000	98.3	1,437	8. 28~ 9. 30

支 場	事 業 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数		
		♀	♂	計	♀	♂	計
根 室	本年	1,239	508	1,747	1,018	364	1,382
	前年	1,023	463	1,486	830	220	1,050
	計	5,683	10,827	16,510	5,290	2,225	7,515
	本年	7,496	9,929	17,425	4,935	1,780	6,716
	前年						
天 塩	天 塩	108	51	159	73	26	99
	徳 志 別	76	67	143	59	18	77
	歌 登	808	329	1,137	639	112	751
	也 別	2,382	4,084	6,466	1,816	299	2,115
	計	316	340	656	247	51	298
	本年	135	142	277	119	45	164
	前年	916	380	1,296	712	138	850
	計	909	410	1,319	252	33	285
	本年	2,909	4,633	7,542	2,241	413	2,654
	前年	7,721	11,524	19,245	6,072	866	6,938
渡 島	尻 別	420	120	540	410	120	530
	朱 太	5	2	7	0	0	0
	計	425	122	547	410	120	530
	本年	1,227	403	1,630	1,222	343	1,565
	前年						
本 年 度 合 計		4,521	2,074	6,595	3,680	1,245	4,925
前 年 度 合 計		22,954	28,520	51,474	20,019	7,135	27,154
比 較		4,980	2,507	7,487	3,984	1,275	5,259
増 減		32,330	40,139	72,469	21,075	6,186	27,261
増		—	—	—	—	—	—
減		459	433	892	304	30	334
増		—	—	—	—	949	—
減		9,376	11,619	20,995	1,056	—	107

②支事業場別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績

第17表 支事業場別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績表

註 上段 桜 鱒
下段 樺 太 鱒

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
							自 至
北 見	支 場	粒	粒	尾	%	尾	
	岩 尾 別	48,200	9,700	38,500	79.9	37,500	4.30～5.10
	斜 里	1,286,700	137,000	1,149,700	89.4	1,130,000	4.30～5.10
	藻 琴	270,000	8,100	261,900	97.0	261,100	4.20～4.30
	網 走	5,000,000	136,400	4,863,600	97.3	4,850,600	4.20～4.30
	計	2,252,500	116,100	2,136,400	94.8	1,922,000	2.10～2.28
	本年	1,775,000	104,500	1,670,500	94.1	1,504,000	3.15～3.31
	前年	—	—	—	—	—	—
	本年	410,000	40,750	369,250	90.1	308,000	3.13～6.10
	前年	1,500,000	200,000	1,300,000	86.7	1,290,000	3.20～3.31

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚使用率	平均採卵数	期 間
粒	粒	粒	%	粒	
1,933,290	72,590	1,860,700	82.2	1,899	9. 1～10. 2
1,693,130	33,130	1,660,000	81.1	2,040	9. 1～10. 12
7,281,510	268,510	7,013,000	93.1	1,376	6.20～10.30
6,261,050	168,550	6,092,500	65.8	1,268	7. 1～10.30
180,600	2,550	178,650	67.5	2,474	8. 3～10.14
79,350	760	78,590	82.0	1,345	8. 1～10. 7
1,483,100	28,100	1,455,000	79.1	2,321	—
2,076,510	43,010	2,033,500	76.2	1,143	—
335,000	300	334,700	78.1	1,356	—
187,900	2,900	185,000	88.1	1,579	—
1,663,700	30,650	1,633,050	77.7	2,337	—
583,500	27,610	555,890	27.7	2,315	—
2,678,760	46,970	2,631,790	77.0	1,195	—
7,638,540	216,770	7,421,770	78.6	1,250	—
1,437,500	31,500	1,406,000	97.6	3,506	9. 1～10.10
0	0	0	0	0	9. 1～10.31
1,437,500	31,500	1,406,000	96.5	3,506	—
4,117,500	77,300	4,040,200	99.6	3,369	—
7,783,440	192,990	7,590,450	81.4	2,115	—
28,463,670	784,180	27,679,490	87.2	1,422	—
9,114,930	177,840	8,937,090	80.0	2,290	—
27,928,990	828,950	27,100,040	65.2	1,310	—
—	15,150	—	—	—	—
1,331,490	—	1,346,640	—	—	—
530,930	—	575,850	—	—	—
—	44,920	—	—	—	—

支 場	事 業 場	収 容 卵 数	死 卵 数	孵 出 尾 数	孵 出 率	放 流 尾 数	放 流 期 間
							自 至
北 見	湧 別	粒	粒	粒	%	尾	
	興 部	77,500	6,900	70,600	91.1	67,000	3.20～4.30
	幌 内	5,432,500	514,400	4,918,100	90.5	4,770,000	3.20～5.31
	計	610,000	68,000	542,000	88.9	531,000	3.20～5.31
	本年	32,500	800	31,700	97.5	30,000	3. 1～3.31
	前年	2,020,000	127,400	1,892,600	93.7	1,800,000	4. 1～4.25
	本年	2,680,700	141,600	2,539,100	94.7	2,317,000	—
	前年	2,653,500	155,300	2,498,200	94.1	2,296,000	—
	本年	18,034,200	1,328,450	16,705,750	92.6	16,183,600	—
	前年	13,584,800	1,152,500	12,432,300	91.5	11,775,600	—

支場	事業場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間	
							自	至
根室	羅門	粒	粒	尾	%	尾		
		3,987,500	2,761,590	1,225,910	30.7	1,200,000	2.20	3.31
	藻別	18,200	1,780	16,420	90.2	16,300	3.31	3.31
		174,300	29,270	145,030	83.2	144,000	3.31	4.16
	伊茶仁	40,000	2,400	37,600	94.0	36,800	3.1	3.20
		1,930,000	168,500	1,761,000	91.2	1,740,000	3.1	4.30
	計根別	655,000	190,000	465,000	71.0	440,000	3.5	5.31
		433,000	116,600	316,400	73.1	300,000	2.10	5.31
	虹別	634,000	239,550	394,450	62.2	390,900	1.5	1.31
		270,700	149,590	121,110	81.0	120,800	1.5	1.31
	浜中	291,000	22,650	268,350	92.2	268,000	4.1	4.16
		52,500	4,200	48,300	92.0	48,000	1.1	4.16
	厚床	167,500	6,200	161,300	96.3	158,100	4.1	4.10
		165,000	6,600	158,400	96.0	155,400	4.1	4.10
天塩	計	1,805,700	462,580	1,343,120	74.4	1,320,100		
		1,660,000	72,500	1,587,500	95.6	1,538,060		
	計	7,013,000	336,350	3,776,650	53.9	3,718,200		
		6,092,500	660,400	5,432,100	89.2	5,180,240		
	支場	3,600	1,650	1,950	54.2	1,500	3.22	3.22
		855,000	56,860	798,140	93.3	500,000	3.25	4.20
	徳志別	1,733,500	217,900	1,515,600	87.4	1,160,000	3.20	6.5

支場	事業場	収容卵数	死卵数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放流期間	
							自	至
天塩	歌登	粒	粒	尾	%	尾		
		778,050	65,100	712,950	91.6	675,500	1.1	2.1
	順別	709,690	14,900	694,790	97.9	692,000	2.20	3.20
		185,000	16,900	168,100	90.9	163,000	3.1	3.15
	計	1,633,050	121,960	1,511,090	92.5	1,175,500		
		555,890	60,140	495,750	89.1	441,540		
	計	2,631,790	251,350	2,380,440	90.4	2,016,500		
		7,421,780	699,240	6,722,540	90.6	6,407,310		
	尻別	1,406,000	114,000	1,289,000	91.7	1,288,000	2.25	4.21
		1,406,000	114,000	1,289,000	91.7	1,288,000		
	計	3,983,500	254,200	3,729,300	93.6	3,714,500		
	計							
本年度合計			7,525,450	840,140	6,682,310	88.8	6,101,200	
			27,678,990	4,816,150	22,862,840	82.6	21,918,300	
			8,880,390	542,640	8,337,750	93.9	8,016,500	
前年度合計			27,099,070	2,512,130	24,586,940	90.7	23,363,150	

③海区水系別桜鱒・樺太鱒親魚捕獲採卵成績

第18表 海区水系別桜鱒・樺太									
海区	水系	支・事業場	採卵場	捕獲尾数			使用親魚数		
				♀	♂	計	♀	♂	計
オ	岩尾別	岩尾別	岩尾別	121	42	163	119	42	161
				3,022	2,282	5,304	3,018	734	3,752
	斜里	斜里	斜里	1,317	869	2,186	1,040	471	1,511
				916	814	1,730	834	304	1,138
	止別	〃	止別	332	93	425	292	85	377
				233	177	410	210	85	295
	藻琴	藻琴	藻琴	—	—	—	—	—	—
				355	276	631	289	118	407
	網走	網走	網走	—	—	—	—	—	—
				915	692	1,607	901	216	1,117
	〃	〃	西網走	—	—	—	—	—	—
				12	5	17	12	5	17
	小計	小計	小計	927	697	1,624	913	221	1,134
				—	—	—	—	—	—
コ	常呂	北見	常呂	909	684	1,593	858	297	1,155
				51	15	66	23	4	27
	〃	〃	端野	75	67	142	35	16	51
				—	—	—	—	—	—
	小計	小計	小計	984	751	1,735	893	313	1,206
				—	—	—	—	—	—
海	湧別	湧別	湧別	3,737	3,431	7,168	3,154	964	4,118
				99	34	133	45	10	55
	渚滑	渚滑	渚滑	1,173	1,388	2,561	869	238	1,107
				—	—	—	—	—	—
	藻釧	〃	藻釧	642	787	1,429	546	148	694
				—	—	—	—	—	—
	興部	興部	興部	450	515	965	438	163	601
				—	—	—	—	—	—
	雄武	幌内	雄武	574	591	1,165	399	190	589
				—	—	—	—	—	—
区				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

鱒親魚捕獲採卵成績表

註 上段 桜鱒
下段 樺太鱒

採卵数	収容前死卵数	収容卵数	♀親魚使用率	平均採卵数	期間
粒	粒	粒	%	粒	
272,000	2,000	270,000	98.3	2,286	7.1~9.30
5,027,300	27,300	5,000,000	99.9	1,666	8.11~10.31
1,888,700	33,700	1,855,000	79.0	1,816	6.21~9.20
1,449,500	19,500	1,430,000	91.0	1,738	8.10~10.10
423,900	16,400	407,500	88.0	1,452	6.21~9.20
351,600	6,600	345,000	90.1	1,674	8.1~10.10
—	—	—	—	—	—
424,900	14,900	410,000	81.4	1,470	8.11~10.20
—	—	—	—	—	—
1,549,700	67,700	1,482,000	98.5	1,720	8.15~10.31
—	—	—	—	—	—
18,500	0	18,500	100.0	1,542	10.16~10.21
—	—	—	—	—	—
1,568,200	67,700	1,500,500	98.5	1,718	—
—	—	—	—	—	—
1,251,500	18,500	1,233,000	94.4	1,459	9.1~10.24
49,250	1,050	48,200	45.1	2,141	8.1~10.10
54,400	700	53,700	46.7	1,554	8.1~10.10
—	—	—	—	—	—
1,305,900	19,200	1,286,700	90.8	1,462	—
—	—	—	—	—	—
3,865,400	187,900	3,677,500	84.4	1,226	7.24~10.20
81,900	4,400	77,500	45.5	1,820	6.21~10.5
137,100	47,100	1,090,000	74.1	1,309	7.22~10.19
—	—	—	—	—	—
625,100	30,100	665,000	85.0	1,273	8.7~10.10
—	—	—	—	—	—
640,700	30,700	610,000	97.3	1,463	8.1~10.17
—	—	—	—	—	—
554,400	4,400	550,000	69.5	1,389	7.4~10.31

海 区	水 系	支・事業場	採 卵 場	捕 獲 尾 数			使 用 親 魚 数		
				♀			♂		
				尾	尾	尾	尾	尾	尾
オ コ ッ ク 海 区	幌 内	幌 内	幌 内	21	11	32	21	11	32
	音 標	徳 志 別	音 標	1,349	1,351	2,700	1,063	459	1,522
	風 烈 布	ク	風 烈 布	297	514	811	226	60	286
	徳 志 別	ク	徳 志 別	17	8	25	6	1	7
	幌 別	歌 登	北見幌別	392	601	993	324	52	376
	屯 別	屯 別	屯 別	791	321	1,112	633	111	744
	海 区 計			1,693	2,969	4,662	1,266	187	1,453
				316	340	656	247	51	298
				135	142	277	119	45	164
				2,749	1,393	4,142	2,179	735	2,914
日 本 海 区	天 塩	天 塩	佐 久	108	51	159	73	26	99
	尻 別	尻 別	名 駒	76	67	143	59	18	77
	朱 太	朱 太	作 開	420	120	540	410	120	530
	海 区 計			5	2	7	0	0	0
				533	173	706	483	146	629
根 室 海 区	サシルイ	羅 白	サシルイ	94	100	194	80	30	110
	羅 白	ク	羅 白	132	160	292	107	43	150
	春刈古丹	ク	春刈古丹	358	369	727	325	106	431
	植 別	薫 別	植 別	9	9	18	8	7	15
	忠 類	伊 茶 仁	忠 類	152	152	304	115	63	178
	標 津	根 室	5 線	293	742	1,035	215	73	288
	ク	中 標 津	武 佐	393	166	559	297	104	401
				2,008	5,311	7,319	1,938	735	2,673
				45	16	61	26	12	38
				1,759	1,620	3,379	1,591	1,402	2,993
				438	182	620	323	116	439
				3,767	6,931	10,698	3,529	2,137	5,666
	当 幌	計 根 別	当 幌	74	28	102	72	28	100
	春 別	ク	春 別	217	238	455	211	90	301
	床 丹	ク	床 丹	116	29	145	63	19	82
	西 別	虹 別	14 線	60	58	118	60	32	92
	ク	ク	西 春 別	177	68	245	177	68	245
				113	111	224	113	59	172
				250	1,607	1,857	218	86	304
				62	24	86	52	21	73
				10	10	20	4	3	7
				62	24	86	52	21	73
				260	1,617	1,877	222	89	311
	風 蓮	浜 中	風 蓮	223	126	349	183	68	251
	別 当 賀	厚 床	別 当 賀	120	199	319	60	23	83
				140	42	182	140	37	177
				117	150	267	115	40	155
	海 区 計			1,239	508	1,747	1,018	364	1,382
				5,683	10,827	16,510	5,152	2,785	7,937
本 前 年 度 比 較	年 度 合 計			4,521	2,074	6,595	3,680	1,245	4,925
	年 度 合 計			22,954	28,520	51,474	20,019	7,135	27,154
	年 度 合 計			4,980	2,507	7,487	3,984	1,275	5,259
	年 度 合 計			32,330	40,139	72,469	21,075	6,186	27,261
	年 度 合 計			459	433	892	304	30	334
	年 度 合 計			9,376	11,619	20,995	1,056	949	107

採 卵 数	収容前死卵数	収 容 卵 数	♀親魚使用率	平均採卵数	期 間
粒	粒	粒	%	粒	
33,200	700	32,500	100.0	1,581	6.21~10.31
1,483,300	13,300	1,470,000	78.8	1,395	6.21~10.31
362,900	9,400	353,500	76.0	1,606	7.25~10.20
10,100	100	10,000	35.3	1,683	7. 1~10.30
331,310	7,810	323,500	82.6	1,023	7. 1~10.30
1,473,000	28,500	1,445,000	80.0	2,327	6.20~ 9.24
1,382,300	25,800	1,356,500	74.8	1,092	7.11~10.23
335,000	300	334,700	78.1	1,396	8. 3~10.14
187,900	2,900	185,000	88.1	1,579	8. 1~10. 7
4,232,050	86,350	4,145,700	79.3	1,942	
21,102,810	514,910	20,587,900	86.1	1,425	
180,600	2,550	178,050	67.5	2,474	9. 1 ~10. 2
79,350	760	78,590	82.0	1,281	9. 1~10.12
1,437,500	31,500	1,406,000	97.6	3,506	9. 1~10.10
0	0	0	0	0	9. 1~10.31
1,618,100	34,050	1,584,050	90.6	3,350	
79,350	760	78,590	82.0	1,281	
110,440	440	110,000	85.1	1,380	7.22~10.10
158,210	710	157,500	81.1	1,478	7.12~10.26
470,270	2,770	467,500	90.8	1,447	7. 4~10.20
18,410	210	18,200	88.9	2,301	8. 1~ 9.25
180,570	6,270	174,300	75.7	1,570	7.11~10. 8
263,560	9,060	254,500	73.4	1,225	8. 5~10.10
541,500	19,000	522,500	75.6	1,823	8. 1~10.10
3,366,200	113,700	3,252,500	96.5	1,736	8. 1~10.10
41,140	1,140	40,000	80.0	1,582	8. 1~10.20
1,745,670	70,170	1,675,500	91.0	1,097	8. 1~10.20
582,640	20,140	562,500	76.0	1,803	
5,111,870	183,870	4,928,000	93.9	1,448	
156,100	7,600	148,500	97.3	2,168	6.20~10.10
260,500	23,000	237,500	97.2	1,234	8.21~10.10
140,000	11,000	129,000	54.3	2,222	6.20~10.10
74,500	9,000	65,500	100.0	1,241	8.11~10.10
402,500	25,000	377,500	100.0	2,274	6.20~10.10
140,000	10,000	130,000	100.0	1,238	8.11~10.10
287,930	20,430	267,500	87.2	1,320	8.11~10.10
116,240	4,740	111,500	83.9	2,235	7.25~ 9.30
4,000	800	3,200	40.0	1,000	7.25~ 9.30
116,240	4,740	111,500	83.9	2,235	
291,930	21,230	270,700	87.3	1,315	
294,470	3,470	291,000	82.1	1,609	6.21~10. 4
54,340	1,840	52,500	50.0	905	6.21~10. 4
222,930	430	222,500	100.0	1,592	7.11~ 9.30
165,320	320	165,000	98.3	1,437	8.28~ 9.30
1,933,290	72,590	1,860,700	82.2	1,899	
7,281,510	268,510	7,013,000	90.7	1,413	
7,783,440	192,990	7,590,450	81.4	2,115	
28,463,670	784,180	27,679,490	87.2	1,422	
9,114,930	177,840	8,937,090	80.0	2,290	
27,928,990	828,950	27,100,040	65.2	1,310	
1,331,490	15,150	1,346,640			
530,930		575,850			
	44,920				

第19表 海区水系別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績表

第19表

海区水系別桜鱒・樺太鱒孵化放流成績表

注(上段 桜鱒
下段 樺太鱒)

海区	水 系	支・事業場	収容卵数	死 卵 数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放 流 期 間	
								自	至
オ コ ッ ク 海 区	岩 尾 別	岩 尾 別	270,000	8,100	261,900	97.0	261,100	4.20	4.30
			5,000,000	136,400	4,863,600	97.3	4,850,600	4.20	4.30
	斜 里	斜 里	2,252,500	116,100	2,136,400	94.8	1,922,000	2.10	2.28
			1,775,000	104,500	1,670,500	94.1	1,504,000	3.15	3.31
	藻 琴	藻 琴	—	—	—	—	—	—	—
			410,000	40,750	369,250	90.1	308,000	3.13	6.10
	網 走	網 走	—	—	—	—	—	—	—
			1,500,000	200,000	1,300,000	86.7	1,290,000	3.20	3.31
	常 呂	北 見	48,200	9,700	38,500	79.9	37,500	4.30	5.10
			1,286,700	137,000	1,149,700	89.4	1,130,000	4.30	5.10
	湧 別	湧 別	77,500	6,900	70,600	91.1	67,000	3.20	4.30
			5,432,500	514,400	4,918,100	90.5	4,770,000	3.20	5.31
	興 部	興 部	—	—	—	—	—	—	—
			610,000	68,000	542,000	88.9	531,000	3.20	5.31
	幌 内	幌 内	32,500	800	31,700	97.5	30,000	3.1	3.31
			2,020,000	127,400	1,892,600	93.7	1,800,000	4.1	4.25
徳 志 別	徳 志 別	855,000	56,860	798,140	93.3	500,000	3.25	4.20	
		1,733,500	217,900	1,515,600	87.4	1,160,000	3.20	6.5	
幌 別	歌 登	778,050	65,100	712,950	91.6	675,500	1.1	2.1	
		709,690	14,900	694,790	97.9	692,000	2.20	3.20	
屯 別	屯 別	—	—	—	—	—	—	—	
		185,000	16,900	168,100	90.9	163,000	3.1	3.15	
海 区 計			4,313,750	263,560	4,050,190	93.9	3,493,100		
			20,662,390	1,578,150	19,084,240	92.4	18,198,600		

8. 鮭 鱒 親 魚 蓄 養 成 績

本年度も蓄養施設の概況は、例年と殆んど変っていないので、省略した。

(1) 鮭親魚蓄養成績概況

本年度鮭親魚の蓄養を行つた採卵場は、岩尾別外69個所で、雌総捕獲数173,125尾のうち、130,205尾（要蓄養数の97.4%）を蓄養し、119,166尾（蓄養数の91.5%）を採卵に供した。

更にこれに即日使用雌37,149尾（捕獲数の21.5%）と合計156,211尾を採卵したが、なお、16,914尾の

第20表 鮭 蓄 養 成 績 表

項 目 採卵場	捕獲數			即日	即日	♀			♀	♀
	♀	♂	計	使用♀	使用率	要蓄養數	蓄養數	率	總使用數	使用率
岩尾別	尾 0	尾 0	尾 0	尾 —	% —	尾 —	尾 —	% —	尾 —	% —
斜里	283	258	541	55	19.4	228	228	100.0	283	100.0
藻琴	623	674	1,297	0	0	623	612	98.2	595	95.5
網走	13,549	17,391	30,940	1,325	9.8	12,224	12,052	98.6	10,672	78.7
西網走	851	1,270	2,121	0	0	851	851	100.0	844	99.2
常呂	2,578	3,162	5,740	0	0	2,524	2,524	100.0	2,071	80.3
端野	1,536	1,800	3,336	147	9.6	1,368	1,367	99.9	1,430	93.1
湧別	14,102	21,100	35,202	0	0	14,102	13,252	94.0	12,148	86.1

海区	水	系	支・事業場	收容卵数	死 卵 数	孵出尾数	孵出率	放流尾数	放 流 期 間				
									自	至			
日 本 海 区	天	塩	天	塩	粒	粒	尾	%	尾				
					3,600	1,650	1,950	54.2	1,500	3.22	3.22		
	尻	別	尻	別	1,406,000	114,000	1,289,000	91.7	1,288,000	2.25	4.21		
	海 区 計			1,406,000 3,600	114,000 1,650	1,289,000 1,950	91.7 54.2	1,288,000 1,500					
根 室 海 区	羅	臼	羅	臼	—	—	—	—	—				
					3,987,500	2,761,590	1,225,910	30.7	1,200,000	2.20	3.31		
	薰	別	薰	別	18,200	1,780	16,420	90.2	16,300	3.31	3.31		
					174,300	29,270	145,030	83.2	144,000	3.31	4.16		
	伊	茶	仁	伊	茶	仁	40,000	2,400	37,600	94.0	36,800	3.1	3.20
							1,930,000	168,500	1,761,000	91.2	1,740,000	3.1	4.30
	当	幌	計根別	655,000	190,000	465,000	71.0	440,000	3.5	5.31			
				433,000	116,600	316,400	73.1	300,000	2.10	5.31			
	西	別	虹 別	634,000	239,550	394,450	62.2	390,900	1.5	1.31			
				270,700	149,590	121,110	81.0	120,800	1.5	1.31			
	風	連	浜 中	291,000	22,650	268,350	92.2	268,000	4.1	4.16			
				92,500	4,200	48,300	92.0	48,000	4.1	4.16			
	別	当賀	厚 床	167,500	6,200	161,300	96.3	158,100	4.1	4.10			
165,000				6,600	158,400	96.0	155,400	4.1	4.10				
海 区 計			1,805,700 7,013,000	462,580 3,236,350	1,343,120 3,776,650	74.4 53.9	1,320,100 3,718,200						
本 年 度 合 計				7,525,450	840,140	6,682,310	88.8	6,101,200					
				27,678,990	4,816,150	22,862,840	82.6	21,918,300					

未利用親魚（雌捕獲数の9.8%）があり、そのうち蓄養池内斃死魚が7,498尾を数えており、なお一層の研究を要する。

～この表の説明～

鮭蓄養技術の進歩は、最近めざましいものがあるが、まだ雌親魚使用率70%以下、及び催熟率80%以下の個所があり本年も、阿寒、打内、三石、長万部、石狩、歴舟、音別、雄武、網走と9個所もあり、今後の改善が望まれる。

蓄 養 数	蓄 養 数			逃 逸 数			そ の 他			
	♀	♂	計	♀	♂	計	老魚	調査	未熟	成熟不能
尾	尾	尾	尾	尾	%	尾	尾	尾	尾	尾
228	151	379	0	—	228 100.0	—	—	—	—	—
612	657	1,269	0	—	595 97.2	17	0	17	—	11
12,052	1,743	13,795	1,648	13.7	9,347 75.2	—	—	—	658	20 349 30
851	1,270	2,121	0	—	844 99.2	7	3	10	—	—
2,524	743	3,267	370	14.7	2,071 82.1	—	—	—	11	54 72 —
1,367	1,110	2,477	84	6.1	1,283 93.9	—	—	—	—	21 — 1
13,252	6,740	19,992	926	7.0	12,148 91.7	—	—	—	59	— 119 850

採卵場	項目	捕獲数			即日 使用♀	即日 使用率	♀			♀ 使用総数	♀ 使用率	
		♀	♂	計			要蓄養数	蓄養数	率			
歴舟 日高幌別 元浦河 三石 静内 新冠 新鵒川 勇弘 白老 敷生 長萬部 遊楽部 茂辺地 知内	尾	尾	尾	尾	%	尾	尾	%	尾	%		
	651	643	1,294	555	86.7	86	28	32.6	585	89.9		
	262	373	635	75	28.6	187	187	100.0	262	100.0		
	355	311	567	184	71.9	72	72	100.0	254	99.2		
	151	131	282	14	9.3	113	113	100.0	101	66.9		
	942	745	1,687	170	18.0	728	728	100.0	747	79.3		
	170	215	385	0	—	170	170	100.0	127	74.7		
	242	355	597	32	13.2	210	210	100.0	107	85.5		
	1,121	882	2,003	(調査河川で全数天然産卵)								
	249	164	413	239	96.0	10	10	100.0	239	96.5		
敷生 長萬部 遊楽部 茂辺地 知内	286	216	502	249	87.1	29	29	100.0	278	97.2		
	113	92	205	24	21.2	89	40	44.9	64	55.6		
	878	341	1,219	332	37.8	546	517	94.7	838	95.4		
	3,588	5,457	9,045	3,518	98.0	70	0	0	3,518	98.0		
知内	187	126	313	53	28.3	134	128	95.5	179	95.7		
合計	173,131	180,368	353,499	37,149	21.5	133,630	130,205	97.4	156,211	90.2		

[2] 桜鱒蓄養成績概況

桜鱒の蓄養を行つた箇所は岩尾別外19箇所、雌捕獲数4,521尾のうち4,086尾(要蓄養数の91.8%)

～この表説明～

本年の雌使用率60%以下、催熟率80%以下の箇所は端野、渚滑、風烈布、佐久、5線、武佐、春別、床丹の8個であ

[3] 姫鱒蓄養成績概況

本年は8,939尾の雌捕獲に対して8,328尾を蓄養し、全数催熟使用しており、成績は極めて良好で、

第21表 桜鱒蓄養成績表

採卵場	項目	捕獲数			即日	即日	♀			♀	♀
		♀	♂	計	使用♀	使用率	要蓄養数	蓄養数	率	使用総数	使用率
岩尾別 斜里別 止別 端野 渚滑 幌内 風烈布 徳志別 佐久 名駒 作開 植別 5線 武佐 当幌 春別 西丹 風蓮 別賀 計	尾	尾	尾	尾	%	尾	尾	%	尾	%	
	121	42	163	3	2.4	118	118	100.0	119	98.3	
	1,317	869	2,186	—	—	1,317	1,117	84.1	1,040	79.0	
	332	93	425	3	0.9	329	329	100.0	252	88.1	
	51	15	66	—	—	48	48	100.0	23	45.1	
	99	34	133	—	—	99	97	98.0	45	45.1	
	21	11	32	—	—	21	21	100.0	21	100.0	
	17	8	25	—	—	17	6	35.2	6	35.3	
	791	321	1,112	31	3.9	791	652	82.4	633	80.0	
	108	51	159	—	—	108	108	100.0	73	67.5	
	420	120	540	—	—	420	420	100.0	410	97.6	
	5	2	7	—	—	5	0	0	—	—	
	9	9	18	—	—	9	9	100.0	8	88.9	
	393	166	559	4	1.1	389	389	100.0	297	75.6	
45	16	61	—	—	37	37	100.0	26	80.0		
74	28	102	8	1.1	66	66	100.0	72	97.3		
116	29	145	—	—	116	116	100.0	63	54.3		
177	68	245	—	—	177	177	100.0	177	100.0		
62	24	86	18	34.6	34	34	100.0	52	83.9		
223	126	349	—	—	223	223	100.0	183	82.6		
140	42	182	11	7.9	129	129	100.0	140	100.0		
4,521	2,074	6,595	78	17.3	4,453	4,086	91.8	3,680	81.4		

蓄養数	♀	♂	計	内訳				逃逸数			その他			
				♀	♂	計	率	♀	♂	計	老魚	調査	未熟	成熟不能
尾	尾	尾	尾	尾	♀	尾	♀	尾	♀	尾	尾	尾	尾	尾
28	8	36	7	25.0	20	71.5	1	1	2	—	—	—	—	—
187	92	279	0	—	187	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
72	37	109	2	2.7	70	98.6	—	—	—	—	—	—	—	—
113	69	182	3	2.7	110	97.3	—	—	—	24	—	—	—	—
728	539	1,267	106	14.6	622	85.4	—	—	—	44	3	46	—	—
170	215	385	0	—	170	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
210	82	292	21	10.0	189	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	7	17	0	—	10	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
29	19	48	0	—	29	100.0	—	—	—	8	—	—	—	—
40	17	57	—	—	40	100.0	—	—	—	8	—	—	—	41
517	220	737	—	—	506	97.9	—	—	—	13	10	11	6	6
0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	56	—	—	—	14
128	95	223	—	—	126	98.4	—	—	—	—	—	—	—	—
130,205	49,596	183,791	7,498	5.8	119,166	91.5	297	75	372	1,130	455	1,083	2,192	2,192

が蓄養され、3,522尾(蓄養数の86.7%)が催熟使用された。

つた。

使用率も98.7%をあげた。

蓄養数	♀	♂	計	内訳				逃逸数			その他			
				♀	♂	計	率	♀	♂	計	老魚	調査	未熟	成熟不能
尾	尾	尾	尾	尾	♀	尾	♀	尾	♀	尾	尾	尾	尾	尾
118	42	160	2	1.7	116	98.3	—	—	—	—	—	—	—	—
1,107	522	1,629	6	0.5	1,040	93.9	—	—	—	30	10	21	210	210
329	93	422	40	12.1	289	87.2	—	—	—	—	—	—	—	—
48	15	63	18	37.5	23	47.9	7	0	7	—	3	—	—	—
97	21	118	52	53.6	45	46.4	—	—	—	—	—	—	—	2
21	11	32	—	—	21	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
6	1	7	—	—	6	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
652	104	756	50	7.7	602	92.3	—	—	—	—	—	—	—	—
108	31	139	35	33.4	73	67.6	—	—	—	—	—	—	—	—
420	120	540	10	2.4	410	97.6	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	3
9	9	18	1	1.1	8	88.9	—	—	—	—	—	—	—	—
389	165	554	96	24.7	293	75.3	—	—	—	—	—	—	—	—
37	16	53	9	24.3	26	74.3	—	—	—	—	2	—	—	—
66	23	89	—	—	64	95.5	—	—	—	—	—	—	—	2
116	29	145	—	—	63	54.3	—	—	—	—	—	—	—	—
177	68	245	—	—	117	66.1	—	—	—	—	—	—	—	—
34	19	53	—	—	34	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
223	84	307	37	16.6	183	82.1	—	—	—	—	—	—	—	—
129	38	167	—	—	129	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
4,086	1,411	5,497	356	8.7	3,542	86.7	7	0	7	32	15	23	217	217

第22表 姫 鱒 蓄 養 成 績 表

採卵場	項目	捕獲數			即日 使用♀	即日 使用率	♀			♀ 使用總數	♀ 使用率
		♀	♂	計			要蓄養數	蓄養數	率		
支笏湖 計		尾 8,939	尾 4,033	尾 12,972	尾 497	% 5.6	尾 8,328	尾 8,328	% 100.0	尾 8,825	% 98.7
		8,939	4,033	12,972	497	5.6	8,328	8,328	100.0	8,825	98.7

(4) 樺太鱒蓄養成績概況

本年は岩尾別外33個所において蓄養を実施したが、雌捕獲数23,454尾に対し、21,300尾（要蓄養数の
～この表の説明～

要蓄養数に対し、殆んどが100%に近い蓄養を行つたが、まだ端野、雄武、西春別、風蓮、植別、忠類の6個所では

採卵場	項目	捕獲数			即日 使用♀	即日 使用率	♀			♀ 使用総数	♀ 使用率
		♀	♂	計			要蓄養数	蓄養数	率		
岩尾別	尾	3,022	2,282	5,304	尾	%	尾	尾	%	尾	%
斜里別		916	814	1,730	—	—	916	896	97.8	834	91.4
止別		233	177	410	—	—	233	233	100.0	210	90.1
藻琴走		355	276	631	—	—	355	355	100.0	289	81.4
網走		915	692	1,507	—	—	915	915	100.0	901	98.5
西網走		12	5	17	—	—	12	12	100.0	12	100.0
常呂		909	684	1,593	—	—	898	898	100.0	858	94.4
端野		75	67	142	3	4.0	71	71	100.0	35	46.7
湧別		3,737	3,431	7,168	—	—	3,737	3,594	96.2	3,154	84.4
渚滑		1,173	1,388	2,561	—	—	1,173	1,056	90.0	869	74.1
藻隨		642	787	1,429	—	—	642	588	91.6	546	85.0
興部		450	515	965	—	—	450	438	97.3	438	97.3
雄武		574	591	1,165	—	—	574	566	98.6	399	69.5
幌内		1,349	1,351	2,700	5	0.4	1,349	1,297	96.1	1,063	78.7
音標		297	514	811	—	—	297	226	76.1	226	76.0
風烈布		392	601	993	—	—	392	342	87.2	324	82.6
德志別		1,693	2,969	4,662	—	—	1,693	1,316	77.7	1,266	74.8
北見幌別		316	340	656	—	—	316	296	93.6	247	78.1
頓別		135	142	277	—	—	123	119	96.7	119	88.1
佐久		76	67	143	—	—	73	73	100.0	59	82.0
サシルイ		94	100	194	—	—	94	94	100.0	80	85.1
羅臼		132	160	292	—	—	131	131	100.0	107	81.1
春刈古丹		358	369	727	—	—	358	358	100.0	325	90.8
植別		152	152	304	—	—	152	151	99.3	115	75.7
忠類		293	742	1,035	—	—	293	293	100.0	215	73.4
5線		2,008	5,311	7,319	295	14.7	1,657	1,657	100.0	1,938	96.5
武佐		1,759	1,620	3,379	174	9.9	1,583	1,583	100.0	1,729	98.2
当幌		217	238	455	—	—	217	217	100.0	211	97.2
春別		60	58	118	—	—	60	60	100.0	60	100.0
床丹		113	111	324	—	—	113	113	100.0	113	100.0
14線		250	1,607	1,857	42	16.8	208	208	100.0	218	87.2
西春別		10	10	20	—	—	5	5	100.0	4	40.0
風蓮		120	199	319	—	—	120	120	100.0	60	50.0
別当賀		117	150	267	30	25.6	87	87	100.0	115	98.3
計		23,454	28,520	51,974	639	2.8	22,229	21,300	95.8	20,157	85.9

蓄 養 内 訳										そ の 他			
蓄 養 数			♀				逃 逸 数			老 魚	調 査	未 熟	成 熟 不 能
♀	♂	計	斃 死	率	催 熟	率	♀	♂	計				
尾 8,328	尾 3,609	尾 11,937	尾 —	% —	尾 8,328	% 100.0	尾 —	尾 —	尾 —	尾 50	尾 —	尾 —	尾 —
8,328	3,609	11,937	—	—	8,328	100.0	—	—	—	50	—	—	—

91.6%)を蓄養し、19,517尾（蓄養数の91.6%）が催熟使用された。

催熟率が低く、技術的に研究の余地が残されている。

蓄 養 内 訳										そ の 他			
蓄 養 数			♀				逃 逸 数			老 魚	調 査	未 熟	成 熟 不 能
♀	♂	計	斃 死	率	催 熟	率	♀	♂	計				
尾 2,932	尾 724	尾 3,656	尾 4	0.1	尾 2,928	% 99.8	尾 —	尾 —	尾 —	尾 —	尾 90	尾 —	尾 —
896	468	1,364	32	3.5	834	93.1	—	—	—	30	—	—	20
233	136	369	6	2.5	210	91.0	—	—	—	2	—	15	—
355	154	509	66	18.5	289	92.0	—	—	—	—	—	—	—
915	269	1,184	3	0.3	901	98.5	—	—	—	11	—	—	—
12	5	17	—	—	12	100.0	—	—	—	—	—	—	—
898	319	1,217	6	0.6	858	95.5	33	37	70	—	11	—	—
71	60	131	24	33.8	32	45.1	14	18	32	—	1	—	1
3,594	981	4,575	313	8.7	3,154	87.8	—	—	—	127	—	—	143
1,056	265	1,321	187	17.7	869	82.3	—	—	—	—	—	—	117
588	165	753	42	7.1	546	92.2	—	—	—	17	—	—	54
438	163	601	—	—	438	100.0	—	—	—	—	—	—	12
566	456	1,022	—	—	399	70.1	—	—	—	—	—	167	8
1,297	923	2,220	3	0.2	1,058	81.6	—	—	—	17	—	219	52
226	55	281	—	—	226	100.0	—	—	—	—	—	—	—
342	52	394	18	5.3	324	94.7	—	—	—	—	—	—	—
1,316	155	1,471	50	3.8	1,265	96.2	—	—	—	—	—	—	—
296	68	364	49	16.6	247	83.4	—	—	—	—	—	—	—
119	47	166	—	—	119	100.0	—	—	—	12	—	—	—
73	22	95	14	19.2	59	80.8	—	—	—	—	3	—	—
94	58	152	12	12.7	80	85.1	—	—	—	—	—	—	2
131	58	189	9	6.5	107	81.7	—	—	—	5	—	—	10
358	138	496	23	4.1	325	90.8	—	—	—	2	—	—	8
151	147	298	18	11.9	115	76.2	—	—	—	6	—	10	2
293	195	488	78	26.6	215	73.4	—	—	—	—	—	—	—
1,657	890	2,556	14	0.8	1,643	99.2	—	—	—	—	—	—	—
1,583	1,399	2,982	20	14.3	1,555	98.2	—	—	—	—	—	—	8
217	90	307	—	—	211	97.2	—	—	—	6	—	—	—
60	32	92	—	—	60	100.0	—	—	—	—	—	—	—
113	59	172	—	—	113	100.0	—	—	—	—	—	—	—
208	12	220	32	15.4	176	84.6	—	—	—	—	—	—	—
5	9	14	1	20.0	4	80.0	—	—	—	—	—	—	—
120	40	160	60	50.0	60	50.0	—	—	—	—	—	—	—
87	86	173	2	2.3	85	98.8	—	—	—	—	—	—	—
21,300	8,709	30,009	1,086	5.1	19,517	91.6	47	55	102	235	105	411	429

9. 鮭 鱒 種 卵 の 移 殖

(1) 移 殖 の 概 況

本年は前述したように、鮭では北見管内の網走、湧別の両採卵場及び根室管内の14線、5線、両採卵場に浜上魚が偏した感があり、そのため余剰卵を余儀なくされ、北見管内は天塩え、根室管内は十勝、千歳、渡島え夫々移殖を実施した。本年は道外に移殖する事なく、全卵道内に移殖収容したが、殆んどが受精直後卵であつたため、管外移殖卵63,455,800粒に対して11,208,150粒（17.7%）の連害卵を出した。このことは毎年研究されているところであるが、なお一層の研究を要する。

鱒は不漁であつたため、管外移殖はなく、管内で全卵を収容した。

① 鮭 卵 移 殖 成 績

第24表 鮭 卵 移 殖 成 績 表

北 見 支 場 管 外 移 殖

移殖月日	供給地	移殖場所	移殖卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
11. 8	湧 別	歌 登	1,627,000	84,500	1,542,500	5.19	受 精 直 後 卵
〃	〃	頓 別	1,292,000	0	1,292,000	0	発 眼 卵
12. 6	〃	名 寄	1,982,500	237,900	1,744,600	12.00	受 精 直 後 卵
〃 8	〃	〃	1,569,500	164,250	1,405,250	10.64	〃
〃 9	網 走	天 塩	2,600,000	208,000	2,392,000	8.00	〃
〃	〃	〃	274,500	0	274,500	—	発 眼 卵
〃	西 網 走	〃	275,000	20,200	254,800	7.34	受 精 直 後 卵
〃 10	〃	音 江	1,843,000	164,000	1,679,000	8.89	〃
〃 15	北 見	〃	1,892,300	0	1,892,300	0	発 眼 卵
北 見 支 場 管 外 移 殖 計			13,355,800	878,850	12,476,950	6.58	

根 室 支 場 管 外 移 殖

移殖月日	供給地	移殖場所	移殖卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
12. 5	14 線	十 勝	5,289,000	1,312,000	3,977,000	24.81	受 精 直 後 卵
〃	5 線	〃	1,558,500	431,000	1,127,500	27.65	〃
〃 7	〃	千 歳	100,000	37,000	63,000	37.00	〃
〃	14 線	〃	1,595,000	596,000	999,000	37.36	〃
〃	〃	元 浦 河	1,007,000	107,000	900,000	10.62	〃
〃	〃	静 内	2,407,000	647,000	1,760,000	26.87	〃
〃	5 線	〃	3,215,000	995,000	2,220,000	30.95	〃
〃 8	14 線	十 勝	687,500	175,000	512,500	25.45	〃
〃	〃	大 樹	1,890,000	238,000	1,652,000	12.59	〃
〃	5 線	〃	162,000	20,400	141,600	12.59	〃
〃 11	14 線	幕 別	1,400,000	280,000	1,120,000	20.00	〃
〃	〃	十 勝	165,000	27,000	138,000	16.36	〃
〃	〃	朱 太	2,314,200	284,200	2,030,000	12.28	〃
〃	〃	尻 別	1,967,700	247,700	1,720,000	12.59	〃
〃	5 線	十 勝	1,457,500	238,000	1,219,000	16.36	〃
〃 15	14 線	千 歳	7,900,000	1,227,500	6,672,500	15.54	〃

移殖月日	供給地	移殖場所	移殖卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
12. 18	5 線	十 勝	165,000	54,000	111,000	32.72	受 精 直 後 卵
〃	14 線	〃	2,585,000	846,000	1,739,000	32.72	〃
〃 25	〃	千 歳	5,300,000	1,067,000	4,233,000	20.13	〃
〃	5 線	〃	350,000	64,000	286,000	18.28	〃
〃 29	14 線	釧 路	8,585,000	1,435,000	7,150,000	16.71	〃
根 室 支 場 管 外 移 殖 計			50,100,000	10,329,300	39,771,100	20.61	〃

北 見 支 場 管 内 移 殖

移殖月日	供給地	移殖場所	移殖卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
10. 10	渚 滑	湧 別	13,600	800	12,800	5.88	受 精 直 後 卵
〃 19	〃	〃	29,500	1,500	28,000	5.08	〃
〃 27	〃	〃	40,600	600	40,000	1.47	〃
〃 11. 5	〃	〃	76,500	2,300	74,200	3.00	〃
〃 14	〃	〃	33,700	1,200	32,500	3.56	〃
〃 21	網 走	岩 尾 別	1,291,000	96,000	1,195,000	7.43	〃
〃	西 網 走	〃	306,500	14,000	292,500	4.56	〃
〃 24	網 走	〃	1,700,500	100,500	1,600,000	5.91	〃
〃	湧 別	渚 滑	1,814,000	180,500	1,633,500	9.95	〃
〃 26	網 走	岩 尾 別	2,367,000	167,000	2,200,000	7.05	〃
〃	西 網 走	〃	141,200	6,200	135,000	4.39	〃
〃 27	網 走	藻 琴	2,490,000	140,000	2,350,000	5.62	〃
〃 28	〃	〃	2,257,000	127,000	2,130,000	5.62	〃
〃 29	湧 別	興 部	935,900	5,400	930,500	0.57	発 眼 卵
〃 12. 1	網 走	斜 里	2,271,000	85,200	2,185,800	3.75	受 精 直 後 卵
〃 2	〃	〃	1,212,500	40,100	1,172,400	3.30	〃
〃 3	〃	〃	577,500	21,500	556,000	3.72	〃
〃 5	湧 別	幌 内	2,300,000	110,000	2,190,000	4.78	〃
〃 11	網 走	斜 里	1,046,800	51,400	995,400	4.91	〃
〃 22	〃	北 見	448,500	0	448,500	0	発 眼 卵
〃 1. 12	〃	〃	1,519,000	0	1,519,000	0	〃
北 見 支 場 管 内 移 殖 計			22,872,300	1,151,200	21,721,100	5.03	

根 室 支 場 管 内 移 殖

移殖月日	供給地	移殖場所	移殖卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
9. 25	武 佐	伊 茶 仁	15,600	600	15,000	3.84	受 精 直 後 卵
〃 30	〃	〃	23,200	700	22,500	3.01	〃
〃 10. 5	〃	〃	57,200	2,400	55,000	4.18	〃
〃 9	5 線	〃	1,925,800	88,300	1,837,500	4.58	〃
〃 10	武 佐	〃	112,100	2,100	110,000	1.87	〃
〃 12	5 線	虹 別	1,395,730	65,730	1,330,000	4.70	〃
〃 14	〃	〃	1,318,500	88,500	1,230,000	6.71	〃

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘	要
10. 17	5	線 虹 別	1,501,500	89,000	1,412,500	5.92	受 精 直 後 卵	
〃	武 佐	伊 茶 仁	94,300	4,300	90,000	4.55	〃	
20	5	線 虹 別	759,200	21,700	737,500	2.85	〃	
21	武 佐	伊 茶 仁	170,300	2,800	107,500	1.64	〃	
23	5	線 虹 別	1,633,800	91,300	1,542,500	5.58	〃	
25	〃	〃	1,588,880	66,380	1,522,500	4.17	〃	
27	武 佐	伊 茶 仁	395,600	13,100	382,500	3.31	〃	
28	5	線 虹 別	746,980	24,480	722,500	3.27	〃	
30	〃	〃	1,684,640	142,140	1,542,500	8.43	〃	
31	武 佐	伊 茶 仁	447,700	12,700	435,000	2.62	〃	
〃	別 当	賀 浜 中	640,100	22,600	617,500	3.53	〃	
11. 1	5	線 虹 別	949,370	36,870	912,500	3.88	〃	
4	別 当	賀 浜 中	256,000	6,000	250,000	2.34	〃	
〃	5	線 中 標 津	2,097,900	72,900	2,025,000	2.47	〃	
7	〃	〃	816,710	31,710	785,000	3.88	〃	
10	〃	〃	1,963,090	40,590	922,500	4.21	〃	
13	〃	中 標 津	1,152,800	32,800	1,120,000	2.84	〃	
〃	14	線 浜 中	849,700	77,200	772,500	9.08	〃	
15	〃	〃	1,240,000	65,000	1,175,000	5.24	〃	
16	5	線 中 標 津	740,500	28,000	712,500	3.78	〃	
17	14	線 〃	2,023,000	143,000	1,880,000	7.06	〃	
18	武 佐	伊 茶 仁	189,700	4,700	185,000	2.47	〃	
19	5	線 中 標 津	387,300	9,800	377,500	2.53	〃	
〃	14	線 薰 別	2,685,600	273,100	2,412,500	10.16	〃	
21	〃	〃	3,531,950	344,250	3,187,500	9.74	〃	
23	〃	〃	3,879,430	381,930	3,497,500	9.84	〃	
24	武 佐	伊 茶 仁	234,100	11,600	222,500	4.95	〃	
〃	5	線 中 標 津	2,142,800	90,300	2,052,500	4.21	〃	
25	14	線 薰 別	2,710,290	287,790	2,442,500	10.61	〃	
〃	〃	根 室	1,285,000	195,000	1,090,000	15.17	〃	
27	5	線 中 標 津	1,432,900	50,400	1,382,500	3.51	〃	
28	14	線 中 羅 白	1,448,500	181,000	1,267,500	12.48	〃	
29	〃	〃	2,232,700	412,700	1,820,000	18.13	〃	
30	5	線 中 標 津	1,117,300	59,800	1,057,500	5.35	〃	
12. 3	武 佐	伊 茶 仁	339,300	16,800	322,500	4.95	〃	
〃	14	線 計 根 別	1,860,000	110,000	1,750,000	5.91	〃	
7	別 当	賀 薰 別	478,830	31,330	447,500	6.54	〃	
〃	14	線 根 室	6,700	1,700	5,000	25.37	〃	
10	武 佐	伊 茶 仁	174,300	9,300	165,000	5.33	〃	
12	別 当	賀 薰 別	253,600	11,100	242,500	4.37	〃	
〃	14	線 浜 中	870,400	43,200	827,200	4.96	〃	
13	武 佐	伊 茶 仁	121,400	1,400	120,000	1.15	〃	
〃	5	線 羅 白	1,392,000	97,000	1,295,000	6.96	〃	
〃	14	線 〃	2,640,000	185,000	2,455,000	7.00	〃	

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘	要
12. 15	5	線 虹 別	500,340	35,340	465,000	7.06	受 精 直 後 卵	
16	14	線 伊 茶 仁	2,953,500	268,500	2,685,000	9.09	〃	
〃	〃	根 室	369,590	44,590	325,000	12.06	〃	
17	〃	〃	92,800	12,800	80,000	13.79	〃	
18	〃	〃	469,500	79,500	390,000	16.93	〃	
20	武 佐	伊 茶 仁	34,400	1,900	32,500	5.23	〃	
〃	14	線 根 室	615,500	70,500	545,000	11.45	〃	
21	5	線 中 標 津	28,500	3,500	25,000	15.78	〃	
〃	14	線 〃	1,679,800	204,800	1,475,000	12.19	〃	
22	5	線 〃	140,000	15,000	125,000	10.71	〃	
23	〃	虹 別	167,500	18,000	149,500	10.74	〃	
28	14	線 根 室	1,027,600	157,600	870,000	15.33	〃	
31	〃	〃	971,870	91,870	880,000	9.45	〃	
1. 4	〃	薰 別	907,830	177,830	730,000	19.58	〃	
5	〃	計 根 別	410,000	60,000	350,000	14.63	〃	
8	〃	薰 別	1,115,300	248,800	866,500	22.30	〃	
15	〃	支 場	341,400	101,400	240,000	29.70	〃	
16	〃	〃	591,000	161,000	430,000	27.24	〃	
18	〃	〃	92,800	15,300	77,500	16.48	〃	
19	〃	〃	851,400	183,900	667,500	21.60	〃	
20	〃	〃	189,000	36,500	152,500	19.31	〃	
21	〃	〃	252,600	60,100	192,500	23.79	〃	
22	〃	〃	111,000	18,500	92,500	16.66	〃	
23	〃	〃	165,600	38,100	127,500	23.00	〃	
24	〃	〃	79,800	22,300	57,500	27.94	〃	
25	〃	〃	9,600	2,100	7,500	21.89	〃	
28	〃	〃	60,500	15,500	45,000	25.61	〃	
30	〃	〃	40,800	10,800	30,000	26.47	〃	
根 室 支 場 管 内 移 殖 計			7,624,060	1,319,060	6,305,000	17.30		

十 勝 支 場 管 内 移 殖

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘	要
10. 26	仮 監	札 内	1,749,800	67,300	1,682,500	3.85	受 精 直 後 卵	
30	〃	〃	1,710,800	65,800	1,645,000	3.85	〃	
31	〃	〃	1,253,200	48,200	1,205,000	3.85	〃	
〃	雪 裡	幕 別	1,175,000	55,000	1,120,000	4.68	〃	
11. 4	仮 監	十 勝	1,653,000	29,000	1,624,000	1.75	〃	
〃	大 別	〃	427,500	7,500	420,000	1.75	〃	
5	雪 裡	〃	1,456,500	26,500	1,430,000	1.75	〃	
12. 3	〃	阿 寒	2,000,000	57,500	1,942,500	2.88	発 眼 卵	
十 勝 支 場 管 内 移 殖 計			11,425,800	356,800	11,069,000	3.12		

渡島支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
11. 13	茂 辺 地	遊 楽 部	粒 1,320,000	粒 35,000	粒 1,285,000	% 2.65	受 精 直 後 卵
15	〃	知 内	583,200	43,200	540,000	7.40	〃
17	〃	遊 楽 部	605,000	17,500	587,500	2.89	〃
21	〃	〃	681,300	28,800	652,500	4.24	〃
24	〃	〃	517,700	20,200	497,500	3.90	〃
28	〃	厚 沢 部	423,000	13,000	410,000	3.17	〃
12. 2	〃	〃	530,200	20,200	510,000	3.81	〃
渡島支場管内移植計			4,660,400	177,900	4,482,500	3.82	

② 鱒 卵 移 植 成 績

第25表 桜 鱒 卵 移 植 成 績 表

北見支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
9. 22	渚 滑	湧 別	粒 57,800	粒 2,800	粒 55,000	% 4.84	受 精 眼 後 卵
10. 5	〃	〃	24,100	1,600	22,500	6.63	〃
北見支場管内移植計			81,900	4,400	77,500	5.37	

根室支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
9. 1	武 佐	伊 茶 仁	粒 5,150	粒 150	粒 5,000	% 2.91	受 精 直 後 卵
9	〃	〃	15,150	150	15,000	0.99	〃
15	〃	〃	10,180	180	10,000	1.06	〃
20	〃	〃	10,660	660	10,000	6.19	〃
11. 5	根 室	虹 別	522,500	230,600	291,900	55.86	発 眼 卵
根室支場管内移植計			563,640	231,740	331,900	41.11	

天塩支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
10. 23	天 塩	歌 登	粒 178,050	粒 0	粒 178,050	% 0	発 眼 卵
27	徳 志 別	〃	600,000	0	600,000	0	〃
天塩支場管内移植計			778,050	0	778,050	0	

樺太鱒卵移植成績表

北見支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
9. 22	渚 滑	湧 別	粒 39,200	粒 1,700	粒 37,500	% 4.33	受 精 直 後 卵
10. 5	〃	〃	426,000	16,000	410,000	3.75	〃
〃	藻 蘆	〃	430,000	17,500	412,500	4.06	〃
10	〃	〃	265,000	12,600	252,500	4.75	〃
〃	渚 滑	〃	367,400	17,400	350,000	4.73	〃
19	〃	〃	304,500	12,000	292,500	3.94	〃
北見支場管内移植計			1,832,200	77,200	1,755,000	4.21	

根室支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
9. 1	武 佐	伊 茶 仁	粒 15,300	粒 300	粒 15,000	% 1.97	受 精 直 後 卵
9	〃	〃	51,120	1,120	50,000	2.19	〃
15	〃	〃	219,600	7,100	212,500	3.23	〃
20	〃	〃	289,700	9,700	280,000	3.35	〃
25	〃	〃	439,500	14,500	425,000	3.30	〃
30	〃	〃	479,300	24,300	455,000	5.07	〃
10. 5	〃	〃	197,000	11,500	185,500	5.84	〃
10	〃	〃	54,150	1,650	52,500	3.05	〃
根室支場管内移植計			1,745,670	76,170	1,675,500	4.02	

天塩支場管内移植

移植月日	供給地	移植場所	移植卵数	収容前 死卵数	収容卵数	収容前 死卵率	摘 要
10. 23	天 塩	歌 登	粒 74,990	粒 0	粒 74,990	% 0	発 眼 卵
27	徳 志 別	〃	300,000	0	300,000	0	〃
天塩支場管内移植計			374,990	0	374,990	0	

③ ひめます卵分譲成績

本年度の支笏湖のひめます卵は、前年度には及ばなかつたが、目標を遙かに越える 430 万余粒の好成績を示し、前年同様支笏湖に放流する以外の余剰卵は、全国10ヶ所に有償又は無償で分譲した。

その成績は下表の通りである。

第26表 姫 鱒 卵 分 譲 成 績 表

分 譲 先	分譲卵数	県 名	摘 要
神 奈 川 県 水 産 指 導 所	粒 150,000	神 奈 川 県	有 償 分 譲
栃 木 県	40,000	栃 木 県	〃

分譲先	分譲卵数	県名	摘要
青木湖漁業協同組合	50,000粒	長野県	有償分譲
沼沢沼	100,000	福島県	〃
白根養魚場	100,000	群馬県	〃
阿寒湖漁業協同組合	100,000	北海道	〃
朱鞠内	100,000	〃	〃
十和田湖ふ化場	750,000	秋田県	無償分譲
日光養魚場	400,000	栃木県	〃
道立水産孵化場	400,000	北海道	〃
合 計	2,190,000		

10. ひめます増殖事業

本年度における支笏湖のひめます増殖事業は、前年に引続き計画数を遙かに越える好成績を挙げた。これは過去5ヶ年間に於いて前年度に次ぐものである。しかしながら、魚体は前年同様平均300g程度のものが多かった。

第22表 支笏湖鮭最近5ヶ年の成績表

年次	捕獲数	採卵数	収容卵数	5ヶ年平均に対する%		
				捕獲	採卵	収容
29	5,123尾	797,000粒	797,000粒	116.5%	41.9%	43.3%
30	2,183	232,000	226,800	29.1	12.2	12.1
31	762	507,400	507,400	11.0	26.7	27.0
32	2,805	700,900	649,300	37.4	36.9	34.5
33	20,914	7,270,800	7,230,800	277.4	382.7	384.1
本年	12,972	4,305,600	4,275,300	173.2	226.6	227.1
5ヶ年平均	7,486	1,900,000	1,882,200	—	—	—

	捕獲	♀使用	採卵	収容	放流
本年度	12,972尾	8,825	4,305,600粒	4,275,300粒	1,190,431尾
計画達成率	140.1%	195.0%	232.9%	237.0%	—

(1) 捕獲・採卵

本年の捕獲期間は10月5日から11月14日までであったが、この間における捕獲尾数は8,936尾、♂4,033尾と前年に続く好成績を挙げ、4,305,600粒を採卵した。採卵した卵子は2,135,800粒を事業場ふ化室に収容し、他は支場ふ化室に収容した。

第28表 捕獲採卵成績表

年度	捕獲数			使用数			♀親魚使用率	採卵数	収容前数	収容卵数	期間
	♀	♂	計	♀	♂	計					
本年度	8,939尾	4,033	12,972	8,825	2,687	11,512	98.7%	4,305,600粒	30,300	4,275,300	10.5
前年度	16,887	4,027	20,914	16,537	2,321	18,858	91.8%	7,270,800	40,000	7,230,800	11.14
比較	—	4	—	—	366	—	—	—	—	—	—
増減	7,948	—	7,942	7,712	—	7,346	—	2,965,200	9,700	2,955,500	

(2) 孵化・放流

支場及び支笏湖事業場に収容した卵子は、順調な経過を辿り、発眼卵から順次、道内・外に移殖分譲し、その数は2,190,000粒に達した。残卵は全部支笏湖事業場に収容し、1月18日から2月25日までに1,515,800尾（ふ出率86.6%）がふ出し、養魚池に放養育成した。これら稚魚は順調に発育したので、4月4日より4月30日までに1,190,431尾を湖水に放流した。

第29表 ふ化放流成績表

年度別	収容卵数	死卵数	ふ出数	ふ出率	放流数	放流期間	備考
本年	1,850,300粒	334,500粒	1,515,800尾	81.9%	1,190,431尾	4.4 ~ 4.30	ふ出数1,515,800より58,100粒は、オコタンベ湖へ放流
前年	2,936,200	317,700	2,618,500	89.2	2,382,800	3.31 ~ 4.25	
比較	—	16,800	—	—	—		
増減	1,085,900	—	1,102,700	—	1,192,369		

11. 調査試験

サケ、マス増殖事業は、魚群の母川回帰を前提とし、特定地区の再生産を確保することによつて、資源維持され、更に増強することが出来るとの考えのもとに発展が見られている。

従つて、増殖事業の真の使命は、これら洄游資源量を確保するに必要な、再生産補充を行うことであつて、自然繁殖の保護と共に積極的な人工孵化放流事業が進められているが、総合的な増殖事業が資源の維持に及ぼしつゝある影響を知り、更に有効な施策を講ずるためには、未だ多くの問題が残されている。

河川浜上産卵群によつて、再生産される稚魚の量（人工＋自然発生）、河口を経て海洋へ送り出される補充量、又海洋における生残り量、沿岸洄游資源量等の関係を明らかにし、明確な判断を行う必要があり、そのためにはサケの生活の全てに関する事象を科学的に究明しなければならない。

昭和34年度においては、前年度に引続きサケ、マスの生態と資源量に関する研究を進め、次の各項に亘る結果を得た。これらの結果概要は、尚検討中或は整理未済のものを含み、今後順次取纏めて発表の予定である。

◎サケ天然繁殖に関する調査

ムム川に於けるこの調査は、昨年度同様に捕獲場より上流約2,500mの区間を試験池と定め、試験の目

的からこれをA,Bに2分した。即ち,Aでは産卵量と稚魚の降下量の関係,Bでは親魚の産卵行動から解游に至る個々の産卵床の観察を行うものである。しかし,本年度は甚しい不漁のため,供試親魚の不足によつて,B区に於ける試験は全く中断せざるを得ない結果となつた。またA区の試験についても,親魚は予定の約50%しか得られなかつたが,その概要を示せば次の通りである。

本年度メム川に浜上した親魚は81尾で,この試験に用いたのは♀24尾,♂27尾である。これを陸上運搬によりA区試験池へ放養し,自然産卵せしめた。このうち♀2尾は未放卵の儘斃死したが,試験池の管理は充分その目的を達成せしめ,下記表の結果を得た。

1959		October																		
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
水 温		12.0°C 12.0 12.5 11.5 11.5 11.5 11.0 12.5 11.0 12.0 11.8 10.3 11.5 11.5 11.5 11.5 11.8 10.5																		
放 流 計 数	♀	1	—	1	1	—	2	3	1	1	1	—	—	1	2	—	—	—	8	
	♂	1	—	1	1	—	2	1	2	—	—	—	—	—	3	1	1	1	9	
	計	2	—	2	2	—	4	4	3	1	1	—	—	1	5	1	1	1	17	
	累	2	—	4	6	—	10	14	17	18	19	—	—	20	25	26	27	28	45	
産卵床数		—	—	—	1	1	1	1	2	2	1	1	1	—	—	1	1	—	—	
取 揚 計 数	♀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	3	2	—	—	2	
	♂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	2	—	1	—	
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	2	4	4	—	1	2	
	累	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	4	8	12	—	13	15	

1959		October								November					合 計
		24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	
水 温		11.5°C	9.5	10.0	13.5	13.0	12.5	10.5	9.5	9.0	10.8	11.8	11.5	10.3	
放 流 数	♀	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24
	♂	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27
	計	2	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51
	累	49	51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51
産卵床数		3	3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
取 揚 数	♀	1	3	—	6	1	4	—	—	—	—	—	—	—	24
	♂	1	4	1	2	2	4	—	—	1	1	1	1	—	24
	計	2	7	1	8	3	8	—	—	1	1	1	1	—	48
	累	17	24	25	33	36	44	—	—	45	46	47	48	—	48

このことによつて,この試験池に産卵された卵の埋蔵量は,孕卵数,運害損失卵数,斃死親魚等から(平均孕卵数×♀親魚数)−損失卵=埋蔵卵の式算出すると51,840粒が産みつけられたと推定される。

	体 長 cm	頭 長 cm	年 令	孕 卵 数	備 考
1	67.0	16.5	5	2,803	斃死魚より
2	71.7	15.4	4	2,976	〃
3	70.0	15.5		2,750	卵巣調査試験より

	体 長 cm	頭 長 cm	年 令	孕 卵 数	備 考
4	71.2	15.4		2,487	卵巣調査試験より
5	72.0	15.8		3,004	〃
平均	70.4	15.7		2,804	

埋 蔵 さ れ な か つ た 卵 の 区 別	卵 数	備 考
親魚輸送中の損失卵	3,507粒	24尾
未放卵斃死親魚による損失卵	5,779粒	2尾
産卵後の残卵数	562粒	22尾
合 計	9,848粒	

推定された埋蔵卵は,稚魚となつて浮游するまで,全く自然に放置され,その降下量は昨年同様算定欄によつて現在実施中である。

◎卵 計 測 調 査

次の捕獲場から,各魚種の卵巣標本の送付を得た。各魚種について,卵数算定,また鮭については,一部卵径卵容の計測中である。

鮭 音江,西春別,常呂,千代田,佐久,遊楽部,14線,端野,知内,面川,勇弘,石狩
 桜鱒 斜里,武佐,徳志別,西春別
 樺太鱒 武佐,湧別,常呂,徳志別,佐久,西春別

◎勇弘川に於ける鮭繁殖調整試験

34年度は,天然産卵による稚魚の生産を行つた。捕獲総数は2,003尾,うち天然産卵に供したもの1,426尾(♀♂合計)。このうち,上流の美々川のトメが一時破壊されたため,密漁者による捕獲分が一部把握出来ず,天然産卵尾数は概数の推定にとどめざるを得なかつた。

捕獲魚はすべて採鱗を行い,放流魚以外はすべて魚体測定を行つた。年令査定はまだ全部すんでいないが,捕獲当初からの135の尾分の査定では,次の様な内訳となつた。

3年魚 1
 4 〃 131
 4 〃 (?) 1
 5 〃 1
 不 明 1

なお,34年は,昭和31年に稚魚の生産を停止した影響が,もしあるとすれば,3年魚に現れる年であるが,これらの検討は,資料の整理が終るのをまたなければならない。

天然産卵によつて生産された稚魚の降海に関する観測は,勇弘川捕獲場の位置で,実施中である。

◎稚魚の標識放流試験

1) 放流 34年秋に十勝川に浜上した親魚から生産された稚魚を35年の3月~4月の間に一部の標識放

放流を行つた。その概要は次の通り。

標 識 部 位	脂 鰭, 両腹鰭 (切除)
実 施 場 所	札内事業場 (十勝支場)
放 流 河 川	面川 (十勝川支流)
標 識 総 数	801,000尾
斃 死 数	13,000尾 (標識後の斃死)
差引放流数	788,000尾

- 2) 再捕 34年度に回帰を予想される標識鮭は、30年の春に千歳川から放流した5年魚群である。34年度中に、いわゆる標識鮭として報告をうけたものは、総数 231 尾 (道内225尾, 本州6) であつたが、放流河川の手掛りを得たものは1尾もなかつた。千歳川での過去2回 (昭和26年及び28年) の標識放流の結果では、26年に放流したものが、5年魚として再捕された例はあるが、28年に放流したものは、前回より放流数をはるかに多かつたのであるが、5年魚としての再捕は、今回同様に1尾もなかつた。年令組成の変動から云えば、このことは、別に問題にすることではないが、千歳川放流分の再捕が各年令群について非常に少いのが今回を含めて、前後3回の試験結果として共通していえることである。

◎親 魚 標 識 放 流 試 験

- ① 本年は従来の標識放流再捕結果と併せて、浜上親魚総量を推定するための標識放流試験を計画したが、試験河川に選定した西別川の14線捕獲場に於ける捕獲数が把握出来ない捕獲方法がとられたため河口からの放流試験は中止の止むなきに至つた。
- 又14線から上流の放流試験は、西春別捕獲場の捕獲期間の都合により、浜上全期間に亘る試験も不可能となり、9月30日～10月3日の間に3回の放流を行つた。その試験結果は、現在取纏中であるが、再捕結果は次表の通りである。
- 浜上数推定の予備試験として、14線西春別間で刺網による捕獲試験を行つたが、試験中急激な増水のため、網を破損流失して結果を得られなかつた。

放流月日	標 識 種 別	性 別	尾 数	再捕数	再捕率	浜 上 所 要 日 数			1日当り浜上距離		
						最 短	最 長	平 均	最 長	最 短	平 均
9月30日	ス ト ラ ッ プ タ グ	♀	117	18	15.4	14	31	24.2	3.8	1.7	2.2
		♂	147	16	10.9	16	31	24.9	3.3	1.7	2.1
		計	264	34	12.9	14	31	24.5	3.8	1.7	2.2
10月1日	ス パ ア ゲ ヅ テ イ タ グ	♀	76	0	0	—	—	—	—	—	—
		♂	74	0	0	—	—	—	—	—	—
		計	150	0	0	—	—	—	—	—	—
10月3日	ス パ ア ゲ ヅ テ イ タ グ	♀	57	0	0	—	—	—	—	—	—
		♂	72	0	0	—	—	—	—	—	—
		計	129	0	0	—	—	—	—	—	—
10月3日	ス ト ラ ッ プ タ グ	♀	37	7	18.9	19	27	23.1	2.8	2.0	2.3
		♂	36	4	11.1	15	28	22.0	3.5	1.9	2.4
		計	73	11	15.1	15	28	22.7	3.5	1.9	2.3
総 計		♀	287	25	8.7	14	31	23.6	3.8	1.7	2.3
		♂	329	20	6.1	15	31	24.7	3.5	1.7	2.2
		計	616	45	7.3	14	31	24.1	3.8	1.7	2.2

◎浜上親魚種族系統の血清学的試験

北海道各河川に浜上する親魚の河川毎の種族系統の有無判定のための一方法として、血清学的に検討することとし、本年は予備試験として、網走川、標津川、千歳川、勇払川、十勝川並に支笏湖姫鱒から採血した。現在その試験方法の検討中であるが、Ouchterlonyの変法を用いた場合、虹鱒、姫鱒、白鮭間の判別は明確に行へることが判明した。白鮭の各河川間の判別については現在実施中である。又別法の重層法沈降反応による試験も現在実施中である。

◎サケ稚魚の生態調査

① 稚魚の降海行動について

千歳川上流地域における稚魚の行動について、特製トラップによる観察調査を行つた。その結果、稚魚の日週移動は夜間、特に日没後2～3時の間、最も活潑であることは、前報 (孵化場研究報告No.12) において確認された通りである。そしてその移動は日中群遊していたものが、日没後群を解き、水表面近くに浮上して、流れと共に移動することが知られ、光と稚魚の群行動との間に密接な関係があることが暗示された。

又その河川の中央部より、岸辺に近く程、稚魚の移動数が多い傾向が観察され、流速と稚魚の活動との間に、極めて興味ある問題が提起された。

② 稚魚の摂餌行動について

降海期のサケ稚魚の日週行動をその摂餌行動の面から実験的に考察した。

稚魚は夕刻、水中照度0ルクスとなつてから極めて活潑な摂餌行動を行ない、昼間、明るい時には積局的な摂餌を行わない。しかしながら、そのような稚魚も継続的な昼間給餌により習慣づけられ、その習性もある程度変えられることが知られた。そして漸進的に上昇する水温変化(16.0～19.4℃)はその摂餌行動に、ほとんど影響を与えない。又夜間給餌の稚魚は、約1ヶ月後において昼間給餌群より著しく良好な成長を示した。従つて降海期のサケ稚魚の日週期活動は、稚魚の索餌行動ともきわめて深い関連性のあることが暗示された。

◎食 害 調 査

サケ、マス稚魚が降海する途中、河川内に棲息する魚類に捕食減耗される数量は、道内各河川に依り又同一河川に於いても年により相異なる事が考えられ、又相当な数量に達するものと考えられる。現在迄、西別川、十勝川支流、面川で野外観察、野外実験分析を実施し、上記の事柄が重要な1つの要因をなしている事が判明されたのである。しかしながらその基礎となる捕食実験が欠けているため、千歳支場の水槽の、飼育中のニジマスを使用して実験を行つた。この実験により魚の餌に対する行動、害魚相互のなわばりの存在する事、被捕食魚の群団防禦等を観察して興味ある結果を得た。即ち、その一例として、数尾のニジマスをつつの水槽に入れる時には、数時間後互が何の影響もなく平静に游泳しているが次に一定数の稚魚を入れると、ニジマス同志互になわばりを定め、その範囲を広める斗が開始される、それが終つてから、摂餌行動を起すことが観察された。

尚、ここに使用したニジマスは人工飼料で飼育しているため、索餌が下手で、野外のそれとは大いに異なるのではないかと思考されるので、今後野外のものを使用して実験を進めたいと思う。

次に勇払川の害魚については、この河川が泥炭地沼で、水色は茶褐色、PHも低いため、河川内には

湧水河川に普通な水棲昆虫は皆無の状態、又この地沼の特徴と云えるヨシが密生している。これは一方からコイ、フナ等の草食性に近いものの好適な棲息地とも云えるわけである。その外にウナギ、ヤマメ、ウグイ、カワエビ等が捕られるが、飼料生物の少い河川故に、サケの産卵期、稚魚放流期のウグイによる害が大きいのではなかろうかと懸念される。

◎サケ卵稚魚の発生生理に関する調査

サケ卵の発生機構については、断片的には国内外に多くの研究結果があるが、このことは人工孵化を仕事としている吾々には重要なことであるのは論をまたない。発生の前段階における構造のみでなく卵の正常な発達が正常な稚魚を作成する根元と考えられるので、受精後8～10時間後の分割卵型の変異傾向について調査続行中である。今年度のSamplingが充分でなかつたので、これを修正して補足すると共に、今後各代表地を選定して広範囲に調べる必要があるのではないかと思考される。

◎漁獲物組成調査

鮭、鱒親魚の魚体測定及び採鱗は、それら魚族の生態調査の基礎資料となる年令組成、体長組成、体重組成等を得るため、継続的に実施しているが、本年も例年と同様の方法で調査を行つた。33年度の主要河川の年令組成は下表の通りで、例年に比して量的に4年魚が最も多く、次いで3年魚であり、5年魚は極端に少い結果が得られた。なお、体長、体重組成については、後日報告する予定であり、又34年度のもののについては、現在鋭意整理中である。

33年度主要河川年令組成；百分率

() 内は標本尾数

年 令	2	3	4	5	6	計
河 川 名						
石 狩 川	2.8 (7)	23.6 (58)	73.6 (181)	—	—	100 (246)
天 塩 川	—	12.0 (39)	85.5 (277)	2.5 (8)	—	100 (324)
藻 別 川	—	3.0 (5)	89.8 (149)	7.2 (12)	—	100 (166)
湧 別 川	—	46.3 (93)	50.2 (101)	3.5 (7)	—	100 (201)
西 別 川	1.6 (3)	18.8 (36)	78.2 (151)	1.0 (2)	—	100 (192)
銅 路 川	—	61.7 (71)	34.8 (40)	3.5 (4)	—	100 (115)
十 勝 川	—	16.4 (35)	77.0 (164)	6.6 (14)	—	100 (213)
静 内 川	8.5 (22)	20.0 (52)	69.6 (181)	1.5 (4)	0.4 (1)	100 (260)

◎種 族 系 統 調 査

知内川は近年まで他河川からの卵の移殖もなく、又形質的にも独特な特徴を持つ道内唯一の河川であつたが、32年にこの河川の鮭の再生産のため、茂辺地川産の卵を移殖したので、この魚群が今後どのような形質、形態を有して派上して来るかを調査するため、関係があると見られる隣接河川に、派上する鮭親魚について、先年と同様の方法により種々細部の計測を行つた。

これら調査河川の魚群の背鰭軟条数、臀鰭軟条数、鰓耙、鰓条骨数は次表の通りである。

背鰭軟条数		表内数字は魚体数						臀鰭軟条数	
軟条数	河川名	12	13	14	15	16	計	軟条数	河川名
12	勇 払 川	—	66	39	4	1	110	15	勇 払 川
13	遊 楽 部 川	3	38	48	11	—	100	16	遊 楽 部 川
14	茂 辺 地 川	—	30	61	9	—	100	17	茂 辺 地 川
15	知 内 川	—	30	46	15	—	91	18	知 内 川
16	計	3	164	194	39	1	401	19	計
計								計	

鰓 耙 数

鰓耙数	19	20	21	22	23	24	25	26	計
河川名									
勇 払 川	—	5	27	35	30	11	2	—	110
遊 楽 部 川	—	3	19	31	27	18	2	—	100
茂 辺 地 川	2	10	36	25	23	4	—	—	100
知 内 川	—	5	16	17	31	17	5	—	91
計	2	23	98	108	111	50	9	—	401

鰓条骨数

骨数	11	12	13	14	15	16	計
河川名							
勇 払 川	—	—	44	57	9	—	110
遊 楽 部 川	1	—	29	50	10	1	100
茂 辺 地 川	—	5	37	47	11	—	100
知 内 川	—	—	26	44	19	2	91
計	1	1	136	198	49	3	401

骨数	11	12	13	14	15	16	計
河川名							
勇 払 川	—	16	63	29	2	—	110
遊 楽 部 川	2	16	61	19	2	—	100
茂 辺 地 川	—	21	51	27	1	2	100
知 内 川	—	6	57	26	2	—	91
計	2	59	232	101	7	2	401

◎障害に関する調査（えん堤調査）

34年から始められた調査であり、採鱗、標識放流（出来れば魚体測定）を主な作業とした。魚体測定、採鱗は、利別、幕別、打内、千代田、札内の各事業場を拠点に行い、その尾数内訳は次の通り。

利別 60（測定、採鱗）、幕別 267（同）、打内 151（同）、札内 29（同）、千代田 1,137（計294 ♀ 843）（採鱗）

標識放流は、打内と千代田で行つた。標識には番号を打込んだアルミ製のStrapを用いた。当初は、前記捕獲場で前後二回100尾宛行方計画であつたが、打内だけは所定の時期に捕獲が少く、一回にした再捕魚は生きている限り再びその地点で放流した。従つて、あるものは三回或はそれ以上も再捕されている。これらの結果は、明年度以降の調査と合して検討する。捕獲場別の放流数、再捕数は次の通りである。なお、再捕数は少なくとも一回再捕されたものの尾数であり、二度以上再捕されたものもすべて1尾とした尾数で、放流場所での再捕が大部分である。

放流場所	打 内	千代田
放流月日	10月2日	10月2日 10月26日
放流尾数	53尾	100尾 100尾
再捕尾数	24尾	80尾 33尾

◎米国産のマスノスケの移殖卵

34年10月に、北海道鮭鱒事業創基80周年記念の贈物として、米国ワシントン州水産局長 M. Moore 氏の好意で、マスノスケの発眼期の卵10万粒が当場に贈られてきた。この卵は、直ちに札内事業場と千歳支場のふ化室に収容した。

札内事業場に収容した卵は、12月初旬にふ遊したが、必要な観測、測定資料を採つた後、次の通り標識して放流した。

標識尾数	42,130尾
部位	脂鰭、両腹鰭の切除

ク 期間 35年1月14日～2月2日
放流河川 面川（十勝川支流）

千歳支場に収容した卵は、ふ出後の成長、標識部位の再生実験などの調査のため、ふ游後も、投餌して飼育中である

姫鱒調査結果

1) 餌料生物の発生状況

甲殻類 *Aoatho cliaptonwspacificus* を主とした餌料生物相の発生は、昨年同様多量であつたが、植物の出現状況はやはり昨年に比較して若干低下して来て居り、近い将来、これが動物プランクトンの出現に影響を与える事は確実と考へられるが、本年はその現象は見られなかつた。

2) 姫鱒の生長と漁獲量

釣獲票調査の結果確認した釣獲尾数は、約90,000尾で大漁であつた昨年の約80%となつていた。又親魚捕獲数は約13,000尾で、昨年の21,000尾の約60%であつたが、本年は本湖としては大漁の部類に入る。尚親魚の年令は4年魚が主で、被鱗体長は平均♀:24.6cm, ♂:24.7cm, 体重は♀:228g, ♂:232gで生長は昨年と大体同様であつた。

3) 姫鱒自然生産調査

支笏湖におけるヒメマス天然産卵の状況は、郵便局前の湖岸で観察できる。そのほか七回り、ポロピナイなど湖の北東岸に多い。天然産卵地域は湖底に湧泉のある地域が選ばれている模様である。産卵群の接岸が目撃された1959年10月23日の表面水温は12.8°C, PH7.4であつた。その後産卵行動の行われた11月11日の水温は10.1°C, 12日は10.0°Cであつた。支笏湖でヒメマスが産卵行動を行うのは10月下旬から11月中旬で、表面水温13～10°Cの範囲であることが推察された。

4) 其の他

幼魚の刺網による採集は、効率が悪く充分な結果が得られなかつた。又ギンケの流下魚も極めて微量にすぎなかつた。



12. 資料の刊行

事業, その他一般の参考に供するため下記の資料を印刷配布した。

標 題	番 号	発 行 月 日
魚 と 卵	76号～81号	34年5月～35年3月
孵化場試験報告	13号	34年12月31日